

<下野市 まちづくりアンケート>

第二次下野市総合計画後期基本計画策定に係る

市民意識調査

令和2年3月

# 目次

## 1. 調査概要 1

(1) 住みごころ	1
(2) 現在の下野市の評価	1
(3) 幸福感	1
(4) まちづくりへの参加	1

## 2. 集計結果 3

(1) 回答者について	3
① 性別	3
② 年齢	4
③ 住んでいる地区	5
④ 居住年数	6
(2) 現在の下野市について	7
① 住みやすさ	7
② 生活環境について	8
③ 下野市の自慢できるもの(こと)	23
(3) 行政施策の満足度・重要度	25
① 施策別満足度・重要度	25
② まちづくり全体の満足度	34
(4) 幸福感について	35
① 下野市での生活の幸福感	35
② 幸せであるために重要なこと	38
(5) まちづくりについて	39
① 地域活動等への参加状況	39
② 参加していない理由	40
③ 活動への参加意向	42
④ 国土強靱化について	44
⑤ 公共施設更新等の財源	45
(6) 自由記入意見	47

## 3. 調査票 51

# 1. 調査概要

- ◆対象 下野市内在住の18歳以上の市民 3,000名
- ◆調査方法 郵送配布・郵送回収
- ◆配布 3,000票
- ◆回収 891票（回収率 29.7%）
- ◆調査時期 令和元年7月11日～8月9日

## 【調査結果の概要】

### (1) 住みごころ

- ・下野市は「住みやすい」が46.7%、「どちらかといえば住みやすい」が40.0%、合わせて“住みやすい”が86.7%（前回83.9%）

### (2) 現在の下野市の評価

- ・生活環境で「とても思う」と「少し思う」を合わせた割合が50%に満たないのは「バスの利用が便利」（15.9%（前回設問無し））と「活気やにぎわいがある」（42.3%（前回38.0%））の2項目であり、他はすべて50%以上

加重平均で1.0を上回った項目（全員が「少し思う」と回答した水準）は、「医療サービスが充実」「災害安全性が高い」の2項目。唯一、マイナスになっているのは「バスの利用が便利」「活気やにぎわいがある」の2項目

- ・施策の評価について、加重平均により満足度と重要度を見ると、高いのは、  
（満足度）

（満足度）		（重要度）			
1位	医療体制	0.77	1位	防犯	1.49
2位	上水道の整備	0.68	2位	消防・防災	1.39
3位	下水道の整備	0.59	3位	医療体制	1.39
4位	消防・防災	0.45	4位	保険・年金	1.33
5位	公園・緑地の整備	0.41	5位	高齢者福祉	1.31

※前回の満足度の上位5位は、「上水道の整備」「医療体制」「下水道の整備」「消防・防災」「ごみ処理・リサイクル」

※前回の重要度の上位5位は、「防犯」「消防・防災」「医療体制」「高齢者福祉」、そして5位タイに「交通安全対策」「ごみ処理・リサイクル」

- ・まちづくり全体への満足度は、「満足」が7.6%、「やや満足」が33.7%、合わせて“満足”は41.3%（前回34.1%）

#### <加重平均の算出方法>

$$\begin{aligned} \text{※加重平均・満足度} &= (\text{「満足」} \times 2 + \text{「やや満足」} \times 1 - \text{「やや不満」} \times 1 - \text{「不満」} \times 2) \\ &\div (\text{無回答を除く回答者数}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{※加重平均・重要度} &= (\text{「重要」} \times 2 + \text{「やや重要」} \times 1 - \text{「あまり重要でない」} \times 1 - \text{「重要でない」} \times 2) \\ &\div (\text{無回答を除く回答者数}) \end{aligned}$$

### (3) 幸福感

- 下野市で生活していて「幸せだと感じている」が77.0%（前回75.1%）
- 幸せであるために重要なのは「健康状況」が76.3%（前回73.6%）、「家計の状況」が67.5%（前回56.8%）

### (4) まちづくりへの参加

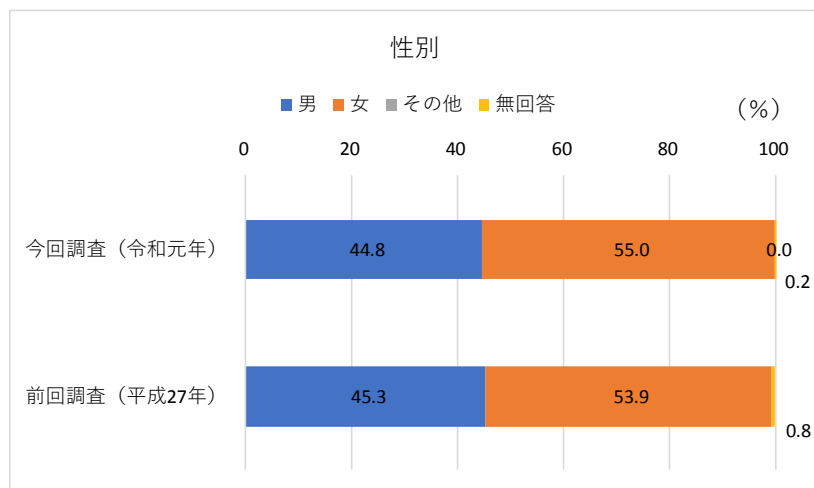
- 地域活動等には、「積極的に参加している」が10.5%、「ときどき参加している」が28.6%、合わせて“参加している”が39.1%（前回33.5%）
- “参加していない”理由は、「活動に参加する時間がない」が32.3%（前回36.7%）
- 参加したい活動は、「市をきれいにする活動」が27.2%（前回30.5%）、「身近な地域でのお祭り」が25.4%（前回23.2%）
- 国土強靱化で重視すべきことは、「ライフラインの確保・早期復旧」（69.9%）、「救助・救急、医療活動」（69.6%）、「人命の保護」（66.1%）
- 公共施設の維持のための財源不足への対応は、「公共施設の統廃合や複合化を行い、人口規模や財政状況に見合った施設の量にする」が52.9%

## 2. 集計結果

### (1) 回答者について

#### ①性別

問1 あなたの性別をお教えてください。

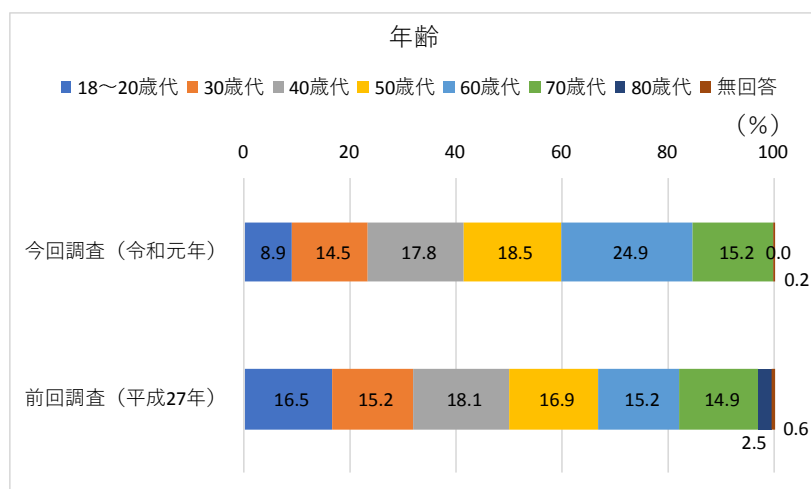


回答者の男女比は、「男」が44.8%、「女」が55.0%となっており、前回と同様の傾向となっています。年代別、居住地区別にみても概ね全体と同様の傾向ですが、「60歳代」は「男」の割合が多くなっています。

問1 性別	1 男	2 女	3 その他	無回答	回答者総数	
回答者総数 (全体)	44.8	55.0	0.0	0.2	891	
年代	18～20歳代	45.6	54.4	0.0	0.0	79
	30歳代	33.3	66.7	0.0	0.0	129
	40歳代	39.6	60.4	0.0	0.0	159
	50歳代	43.0	56.4	0.0	0.6	165
	60歳代	55.0	45.0	0.0	0.0	222
	70歳代	46.7	53.3	0.0	0.0	135
	80歳代	-	-	-	-	0
	無回答	50.0	0.0	0.0	50.0	2
居住地区	南河内地区	45.7	54.3	0.0	0.0	304
	石橋地区	43.4	56.6	0.0	0.0	290
	国分寺地区	45.6	54.0	0.0	0.4	285
	無回答	33.3	58.3	0.0	8.3	12

## ②年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。

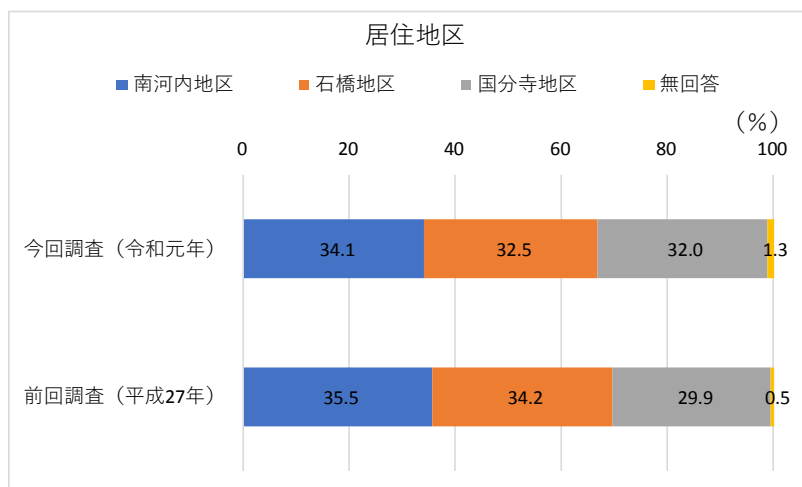


年齢別では、「60歳代」が24.9%で最も多く、次いで「50歳代」の18.5%、「40歳代」の17.8%などとなっています。

問2 年齢	18~20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	無回答	回答者総数	
回答者総数 (全体)	8.9	14.5	17.8	18.5	24.9	15.2	0.0	0.2	891	
性別	男	9.0	10.8	15.8	17.8	30.6	15.8	0.0	0.3	399
	女	8.8	17.6	19.6	19.0	20.4	14.7	0.0	0.0	490
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
居住地区	南河内地区	9.9	13.8	15.1	22.7	26.0	12.5	0.0	0.0	304
	石橋地区	7.2	15.9	20.3	13.4	25.9	17.2	0.0	0.0	290
	国分寺地区	9.1	14.0	18.2	18.9	23.2	16.5	0.0	0.0	285
	無回答	16.7	8.3	16.7	25.0	16.7	0.0	0.0	16.7	12

### ③住んでいる地区

問3 あなたはどちらにお住まいですか。

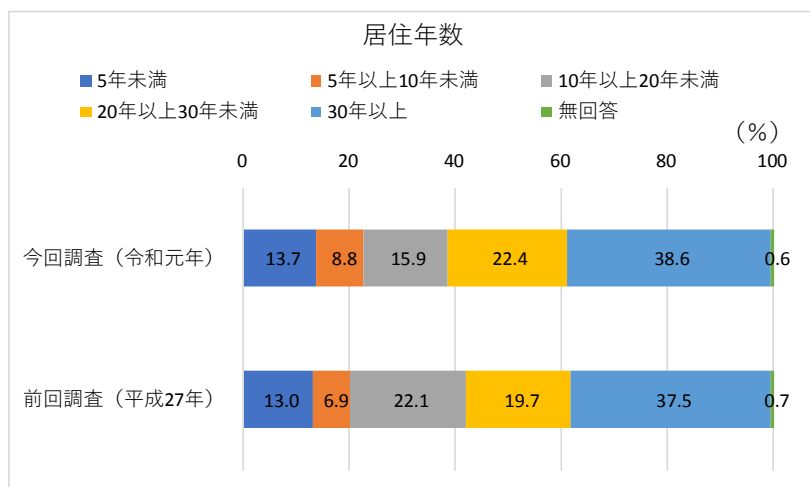


居住地区は、「南河内地区」が34.1%、「石橋地区」が32.5%、「国分寺地区」が32.0%であり、概ね同じ割合となっています。

問3 居住地区		1 南河内地区	2 石橋地区	3 国分寺地区	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		34.1	32.5	32.0	1.3	891
性別	男	34.8	31.6	32.6	1.0	399
	女	33.7	33.5	31.4	1.4	490
	その他	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	50.0	50.0	2
年代	18～20歳代	38.0	26.6	32.9	2.5	79
	30歳代	32.6	35.7	31.0	0.8	129
	40歳代	28.9	37.1	32.7	1.3	159
	50歳代	41.8	23.6	32.7	1.8	165
	60歳代	35.6	33.8	29.7	0.9	222
	70歳代	28.1	37.0	34.8	0.0	135
	80歳代	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	100.0	2

#### ④居住年数

問4 あなたが、現在の地区にお住まいになっている年数をお答えください。



居住年数は、「30年以上」が38.6%で最も多く、次いで「20年以上30年未満」が22.4%となっています。

年代別では、「30歳代」で、「5年未満」と「5年以上10年未満」を合わせた“10年未満”が63.5%と転入して間もない方が3分の2近くを占めています。

問4 居住年数	1 5 年 未 満	2 5 年 以 上 1 0 年 未 満	3 満 1 0 年 以 上 2 0 年 未 満	4 満 2 0 年 以 上 3 0 年 未 満	5 3 0 年 以 上	無 回 答	回 答 者 総 数	
回答者総数 (全体)	13.7	8.8	15.9	22.4	38.6	0.6	891	
性別	男	10.5	7.3	14.8	21.1	45.9	0.5	399
	女	16.3	10.0	16.9	23.5	32.9	0.4	490
	その他	-	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	2
年代	18～20歳代	29.1	11.4	24.1	34.2	0.0	1.3	79
	30歳代	42.6	20.9	10.1	5.4	20.2	0.8	129
	40歳代	15.7	15.7	32.1	15.7	20.8	0.0	159
	50歳代	3.6	4.2	21.2	40.6	30.3	0.0	165
	60歳代	3.2	3.2	6.3	24.8	62.6	0.0	222
	70歳代	4.4	2.2	7.4	14.1	71.1	0.7	135
	80歳代	-	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居住地区	南河内地区	15.5	7.6	12.8	32.6	31.3	0.3	304
	石橋地区	11.4	10.0	16.2	16.2	46.2	0.0	290
	国分寺地区	14.0	8.4	18.9	18.2	40.0	0.4	285
	無回答	16.7	16.7	16.7	16.7	8.3	25.0	12

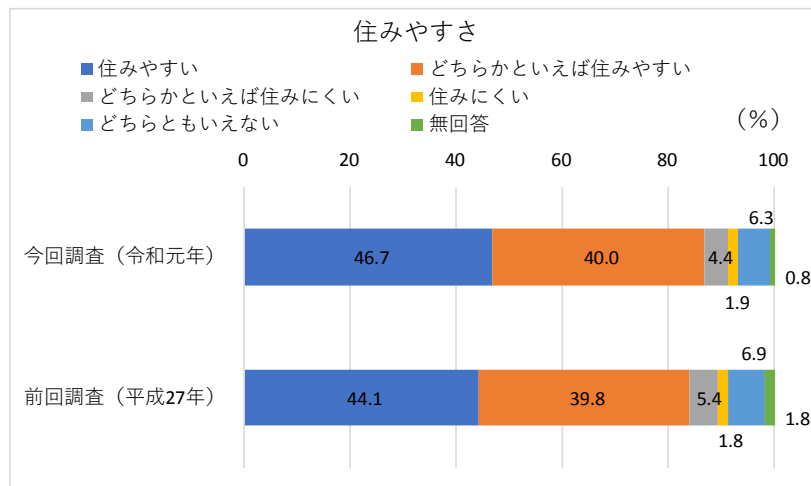


## (2) 現在の下野市について

### ① 住みやすさ

問5 下野市は、住みやすいと思いますか。 <○は1つ>

また、その理由を具体的にお書きください。



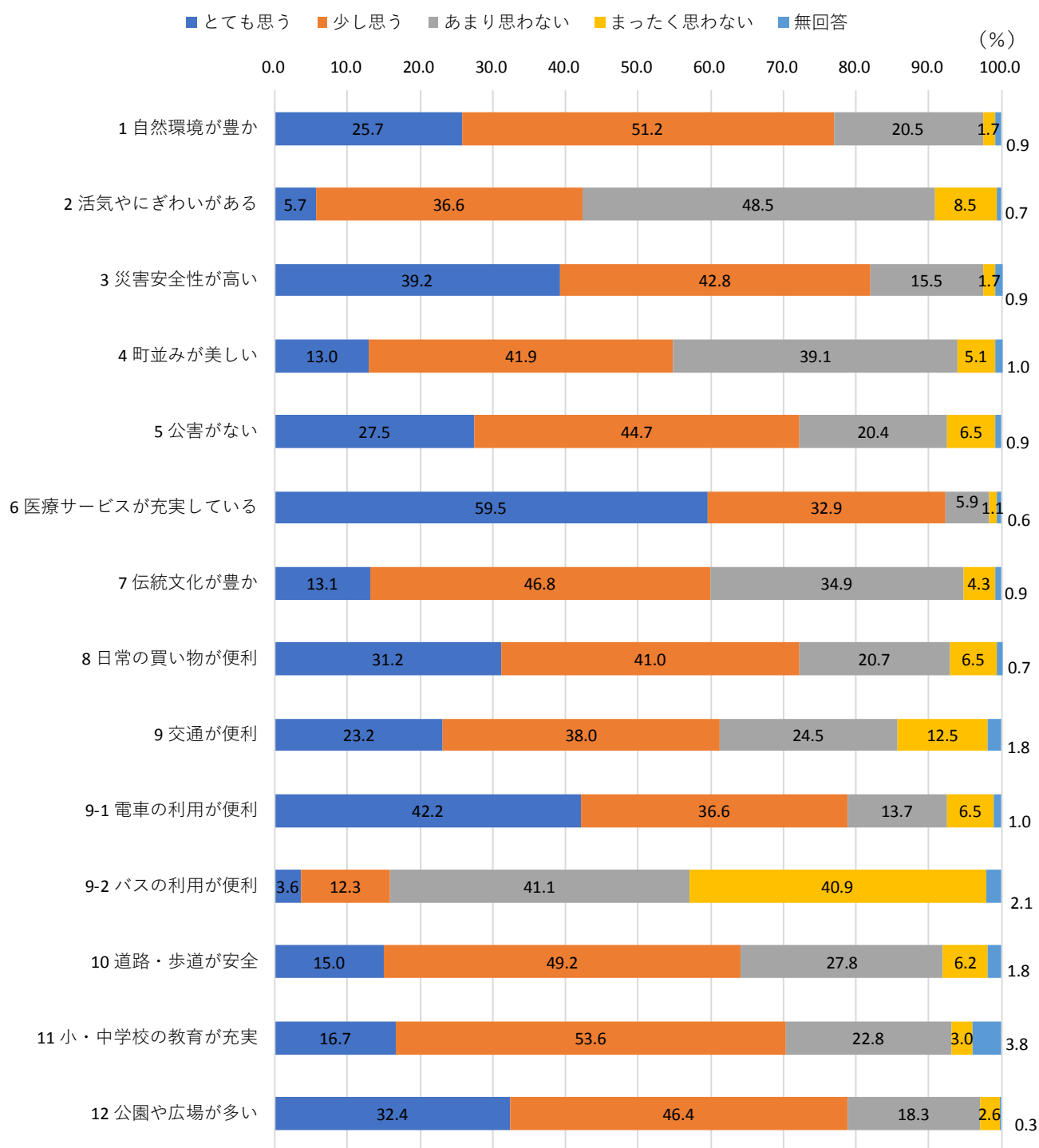
下野市の住みやすさについては、「住みやすい」が46.7%、「どちらかといえば住みやすい」が40.0%で、合わせて86.7%が“住みやすい”と回答しています。一方、「住みにくい」が1.9%、「どちらかといえば住みにくい」が4.4%で、合わせて“住みにくい”が6.3%となっています。年代別では、「40歳代」で“住みやすい”が90.6%と9割を超えています。

問5 住みやすさ		1 住み やすい	2 み ど ち ら か と い え ば 住 み やすい	3 み ど ち ら か と い え ば 住 みに くい	4 住 み に くい	5 ど ち ら と も い え ない	無 回 答	回 答 者 総 数
回答者総数 (全体)		46.7	40.0	4.4	1.9	6.3	0.8	891
性 別	男	43.6	40.9	5.0	3.3	6.3	1.0	399
	女	49.4	39.2	3.9	0.8	6.3	0.4	490
	その他	-	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
年 代	18~20歳代	43.0	44.3	2.5	2.5	6.3	1.3	79
	30歳代	48.8	35.7	4.7	4.7	6.2	0.0	129
	40歳代	50.3	40.3	3.8	0.6	4.4	0.6	159
	50歳代	47.9	41.8	3.0	1.2	6.1	0.0	165
	60歳代	40.1	44.1	6.3	2.3	6.3	0.9	222
	70歳代	52.6	32.6	4.4	0.0	8.9	1.5	135
	80歳代	-	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	2
居 住 地 区	南河内地区	52.0	37.5	2.0	3.0	5.6	0.0	304
	石橋地区	41.7	43.1	6.9	1.4	5.9	1.0	290
	国分寺地区	46.0	40.0	4.6	1.1	7.7	0.7	285
	無回答	50.0	25.0	0.0	8.3	0.0	16.7	12

## ②生活環境について

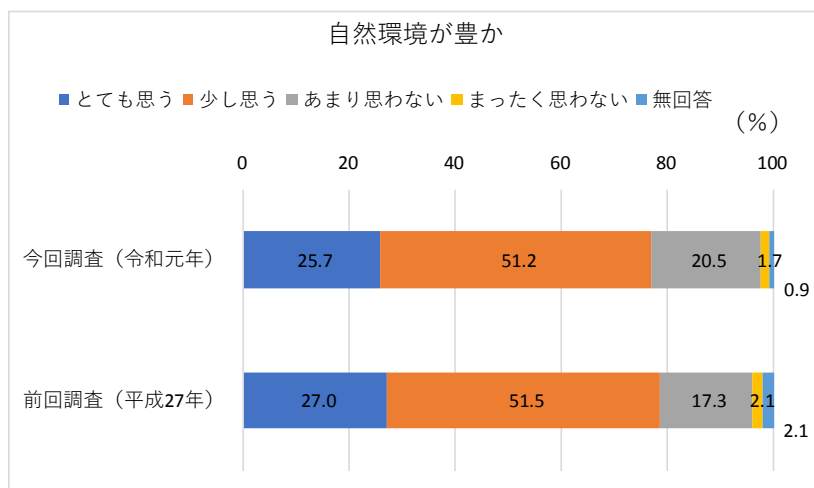
問6 あなたの身近な生活環境の中で、次の内容について、どのように思いますか。

<〇は項目ごとに1つ>

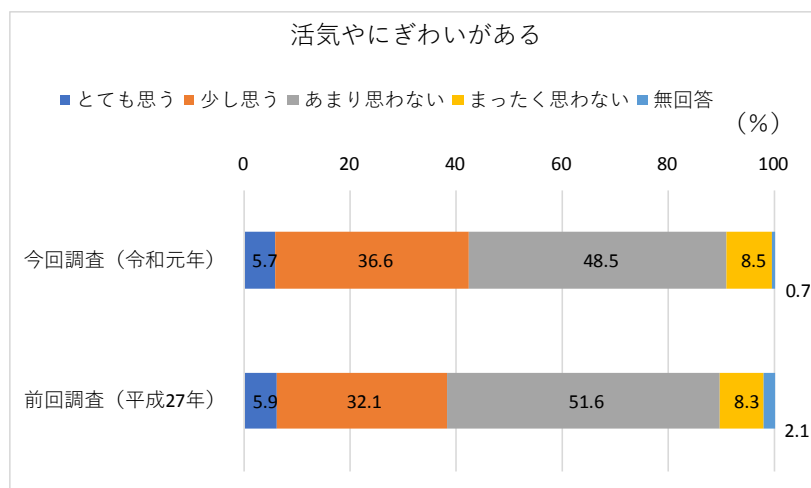


身近な生活環境については、「とても思う」と「少し思う」を合わせた“思う”が多いのは、「医療サービスが充実している」92.4%、「災害安全性が高い」82.0%、「公園や広場が多い」78.8%などであり、各項目とも“思う”とする割合が多くなっています。

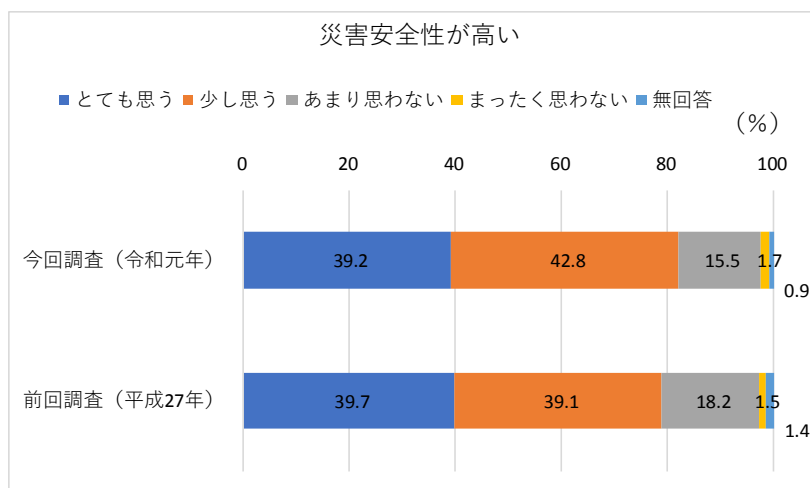
一方、“思う”とする割合が比較的少なかったのは「活気やにぎわいがある」の42.3%です。  
 なお、「交通が便利」は61.2%が“思う”と回答していますが、これを「電車」と「バス」に分けて聞くと、“思う”割合は、「電車の利用が便利」が78.8%であるのに対して「バスの利用が便利」は15.9%にとどまっています。



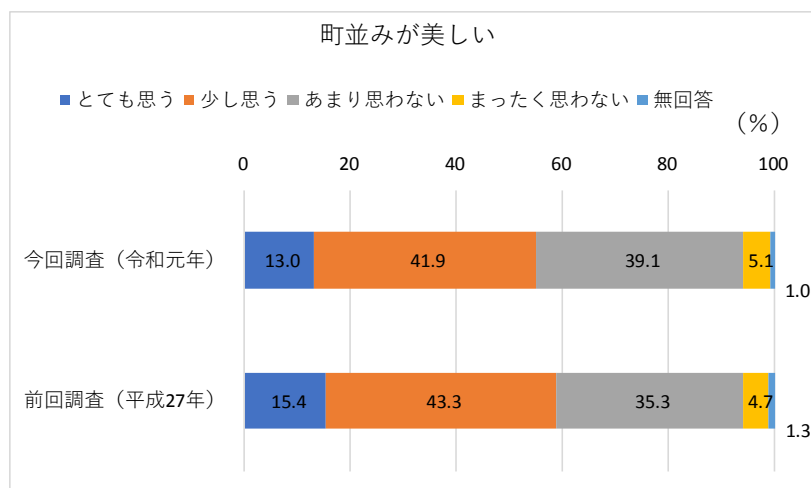
問6-1 自然環境が豊か		1 とても 思う	2 少し 思う	3 あまり 思わ ない	4 ま つ た く 思 わ な い	無 回 答	回 答 者 総 数
回答者総数 (全体)		25.7	51.2	20.5	1.7	0.9	891
性 別	男	23.3	50.1	23.3	2.5	0.8	399
	女	27.6	52.2	18.4	1.0	0.8	490
	その他	-	-	-	-	-	0
	無回答	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
年 代	18~20歳代	21.5	44.3	31.6	1.3	1.3	79
	30歳代	27.9	51.2	14.7	4.7	1.6	129
	40歳代	27.0	52.2	20.1	0.6	0.0	159
	50歳代	24.2	51.5	23.6	0.6	0.0	165
	60歳代	20.7	56.8	20.7	1.4	0.5	222
	70歳代	34.8	45.2	16.3	2.2	1.5	135
	80歳代	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居 住 地 区	南河内地区	30.6	50.3	17.8	1.0	0.3	304
	石橋地区	21.7	50.7	24.8	2.1	0.7	290
	国分寺地区	25.3	53.0	18.9	2.1	0.7	285
	無回答	8.3	41.7	25.0	0.0	25.0	12



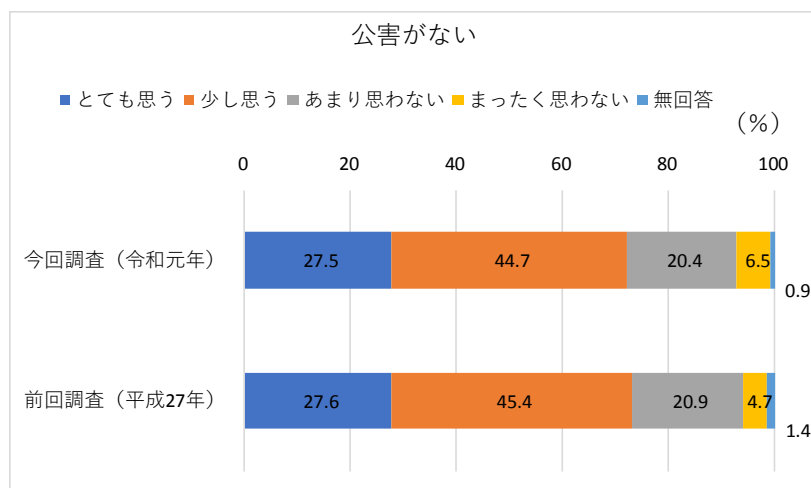
問6-2 活気やにぎわいがある		1 とても 思う	2 少し 思う	3 あまり 思わ ない	4 ま つ た く 思 わ な い	無 回 答	回 答 者 総 数
回答者総数 (全体)		5.7	36.6	48.5	8.5	0.7	891
性 別	男	3.3	33.3	51.9	11.0	0.5	399
	女	7.8	39.2	45.9	6.5	0.6	490
	その他	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	2
年 代	18～20歳代	2.5	38.0	53.2	6.3	0.0	79
	30歳代	11.6	43.4	34.9	9.3	0.8	129
	40歳代	7.5	36.5	49.7	6.3	0.0	159
	50歳代	4.2	37.0	50.9	7.3	0.6	165
	60歳代	3.2	32.9	53.2	10.4	0.5	222
	70歳代	5.9	35.6	47.4	10.4	0.7	135
	80歳代	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居 住 地 区	南河内地区	7.6	39.1	47.4	5.6	0.3	304
	石橋地区	3.4	36.6	48.3	11.4	0.3	290
	国分寺地区	6.0	34.0	50.5	9.1	0.4	285
	無回答	8.3	33.3	33.3	0.0	25.0	12



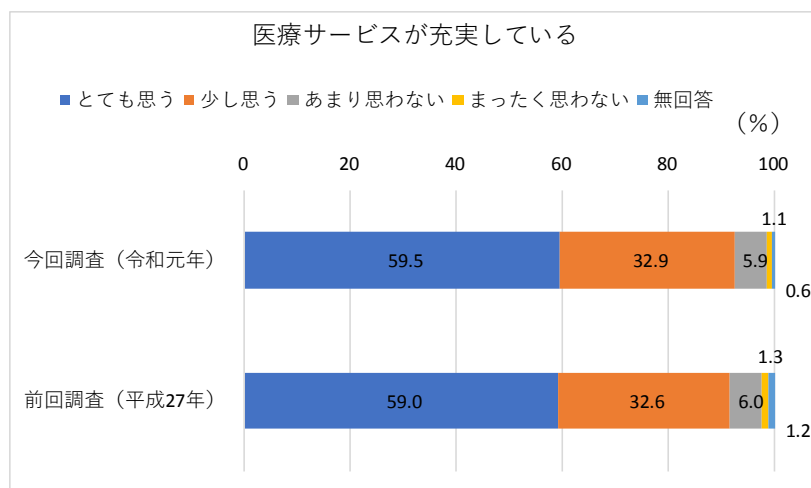
問6-3 災害安全性が高い		1 とても 思う	2 少し 思う	3 あまり 思わ ない	4 ま っ た く 思 わ な い	無 回 答	回 答 者 総 数
回答者総数 (全体)		39.2	42.8	15.5	1.7	0.9	891
性 別	男	37.1	44.4	14.5	2.8	1.3	399
	女	41.0	41.4	16.3	0.8	0.4	490
	その他	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	2
年 代	18～20歳代	39.2	38.0	20.3	1.3	1.3	79
	30歳代	34.9	41.9	18.6	3.9	0.8	129
	40歳代	32.7	47.8	18.2	0.6	0.6	159
	50歳代	37.6	41.2	19.4	1.2	0.6	165
	60歳代	41.0	45.5	11.3	2.3	0.0	222
	70歳代	50.4	38.5	8.9	0.7	1.5	135
	80歳代	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居 住 地 区	南河内地区	42.1	41.1	14.1	2.6	0.0	304
	石橋地区	37.2	43.4	17.2	1.0	1.0	290
	国分寺地区	37.2	44.9	15.4	1.4	1.1	285
	無回答	58.3	16.7	8.3	0.0	16.7	12



問6-4 町並みが美しい		1 とても 思う	2 少し 思う	3 あまり 思わ ない	4 ま つ た く 思 わ な い	無 回 答	回 答 者 総 数
回答者総数 (全体)		13.0	41.9	39.1	5.1	1.0	891
性 別	男	9.3	38.8	42.6	7.8	1.5	399
	女	16.1	44.3	36.3	2.9	0.4	490
	その他	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	2
年 代	18～20歳代	15.2	46.8	34.2	2.5	1.3	79
	30歳代	14.7	43.4	35.7	5.4	0.8	129
	40歳代	11.9	45.9	39.0	3.1	0.0	159
	50歳代	13.3	46.7	33.9	6.1	0.0	165
	60歳代	9.0	36.0	46.8	6.8	1.4	222
	70歳代	17.8	37.0	39.3	4.4	1.5	135
	80歳代	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居 住 地 区	南河内地区	23.0	48.4	24.7	3.9	0.0	304
	石橋地区	6.2	33.4	51.4	7.2	1.7	290
	国分寺地区	9.1	43.9	42.1	4.2	0.7	285
	無回答	16.7	33.3	33.3	0.0	16.7	12

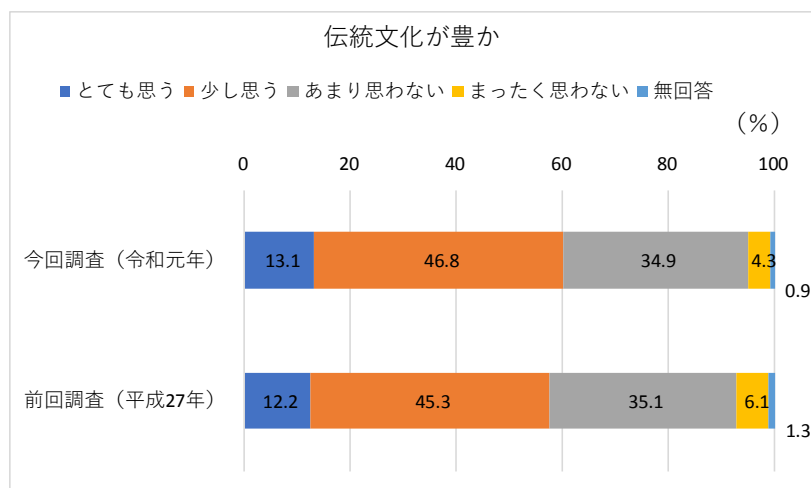


問6-5 公害がない		1 とても 思う	2 少し 思う	3 あまり 思わ ない	4 ま っ た く 思 わ な い	無 回 答	回 答 者 総 数
回答者総数 (全体)		27.5	44.7	20.4	6.5	0.9	891
性 別	男	25.3	45.9	20.6	7.3	1.0	399
	女	29.2	43.9	20.4	5.9	0.6	490
	その他	-	-	-	-	-	0
	無回答	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
年 代	18～20歳代	36.7	38.0	17.7	6.3	1.3	79
	30歳代	29.5	38.8	26.4	4.7	0.8	129
	40歳代	28.3	46.5	17.6	6.3	1.3	159
	50歳代	26.7	41.2	23.6	8.5	0.0	165
	60歳代	20.7	52.7	19.4	7.2	0.0	222
	70歳代	31.9	43.7	17.8	5.2	1.5	135
	80歳代	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居 住 地 区	南河内地区	29.6	44.4	19.1	6.9	0.0	304
	石橋地区	25.9	48.3	20.7	4.5	0.7	290
	国分寺地区	27.4	40.7	22.1	8.4	1.4	285
	無回答	16.7	58.3	8.3	0.0	16.7	12

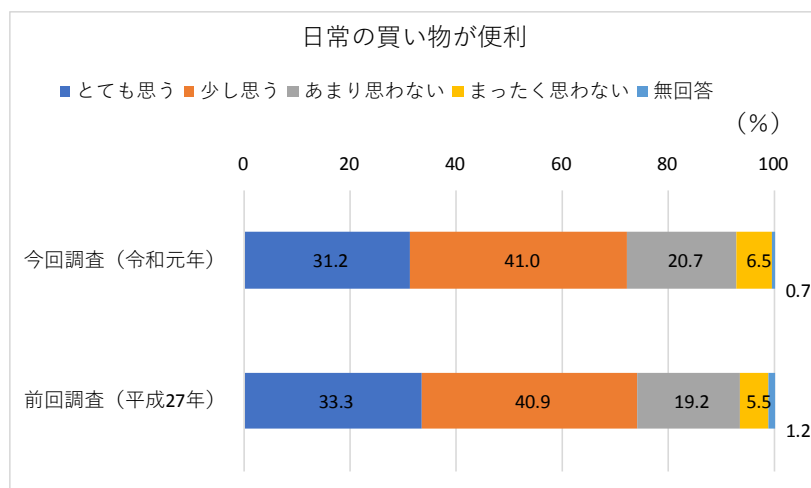


問6-6 医療サービスが充実している		1 とても 思う	2 少し 思う	3 あまり 思わ ない	4 ま っ た く 思 わ な い	無 回 答	回 答 者 総 数
回答者総数 (全体)		59.5	32.9	5.9	1.1	0.6	891
性 別	男	59.4	32.3	6.3	1.5	0.5	399
	女	59.6	33.5	5.7	0.8	0.4	490
	その他	-	-	-	-	-	0
	無回答	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
年 代	18～20歳代	72.2	22.8	5.1	0.0	0.0	79
	30歳代	60.5	29.5	8.5	1.6	0.0	129
	40歳代	62.3	32.7	4.4	0.0	0.6	159
	50歳代	58.8	31.5	7.9	1.8	0.0	165
	60歳代	47.7	43.7	6.3	1.8	0.5	222
	70歳代	68.9	26.7	3.0	0.7	0.7	135
	80歳代	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居 住 地 区	南河内地区	60.5	32.9	4.9	1.6	0.0	304
	石橋地区	60.3	32.1	6.2	1.0	0.3	290
	国分寺地区	57.9	33.7	7.0	0.7	0.7	285
	無回答	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	12

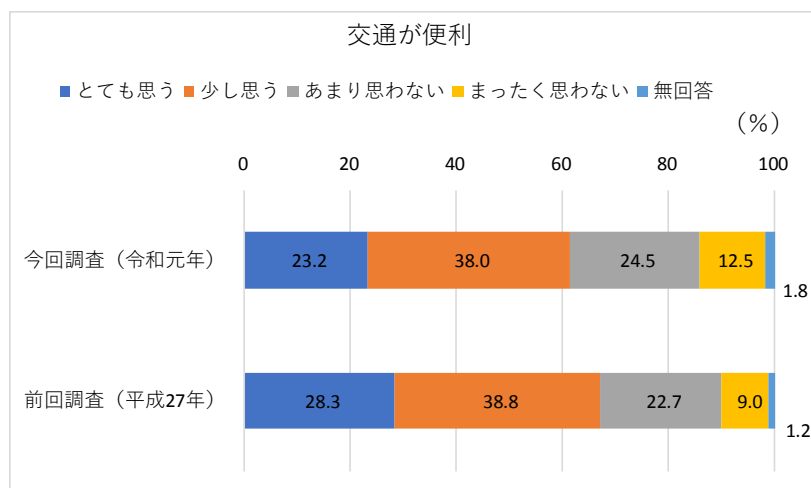




問6-7 伝統文化が豊か		1 とても思う	2 少し思う	3 あまり思わない	4 まったく思わない	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		13.1	46.8	34.9	4.3	0.9	891
性別	男	9.3	46.1	37.1	6.5	1.0	399
	女	16.3	47.3	33.3	2.4	0.6	490
	その他	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	2
年代	18～20歳代	15.2	45.6	35.4	2.5	1.3	79
	30歳代	17.1	43.4	33.3	5.4	0.8	129
	40歳代	17.6	48.4	28.9	4.4	0.6	159
	50歳代	12.1	45.5	36.4	5.5	0.6	165
	60歳代	6.3	48.2	39.2	5.9	0.5	222
	70歳代	15.6	48.9	34.8	0.0	0.7	135
	80歳代	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居住地区	南河内地区	11.5	43.4	38.5	6.6	0.0	304
	石橋地区	15.5	49.3	31.4	2.4	1.4	290
	国分寺地区	12.6	48.8	35.8	2.5	0.4	285
	無回答	8.3	25.0	8.3	33.3	25.0	12



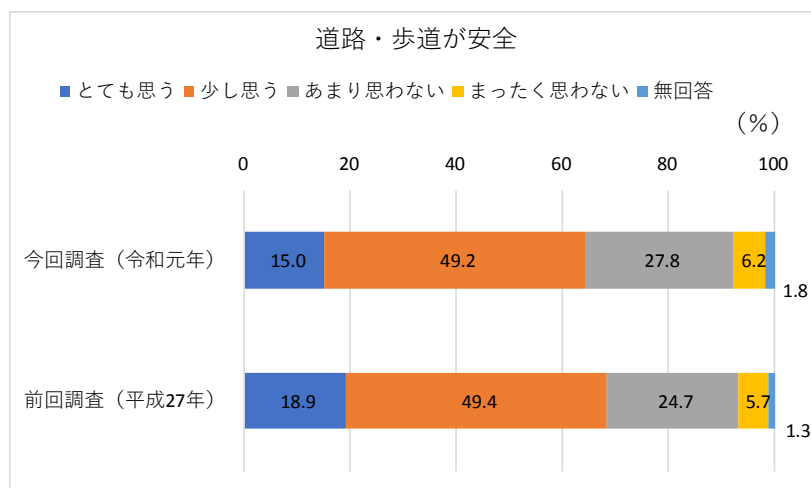
問6-8 日常の買い物が便利		1 とても 思う	2 少し 思う	3 あまり 思わ ない	4 ま つ た く 思 わ な い	無 回 答	回 答 者 総 数
回答者総数（全体）		31.2	41.0	20.7	6.5	0.7	891
性 別	男	25.8	42.1	24.8	6.5	0.8	399
	女	35.7	40.0	17.3	6.5	0.4	490
	その他	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	2
年 代	18～20歳代	41.8	31.6	19.0	7.6	0.0	79
	30歳代	33.3	32.6	27.1	7.0	0.0	129
	40歳代	32.1	38.4	21.4	7.5	0.6	159
	50歳代	32.7	44.8	15.8	6.1	0.6	165
	60歳代	21.6	48.6	23.4	6.3	0.0	222
	70歳代	36.3	40.7	16.3	5.2	1.5	135
	80歳代	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居 住 地 区	南河内地区	36.5	37.8	17.4	7.9	0.3	304
	石橋地区	26.2	43.1	23.4	6.9	0.3	290
	国分寺地区	29.8	42.5	22.1	4.9	0.7	285
	無回答	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	12



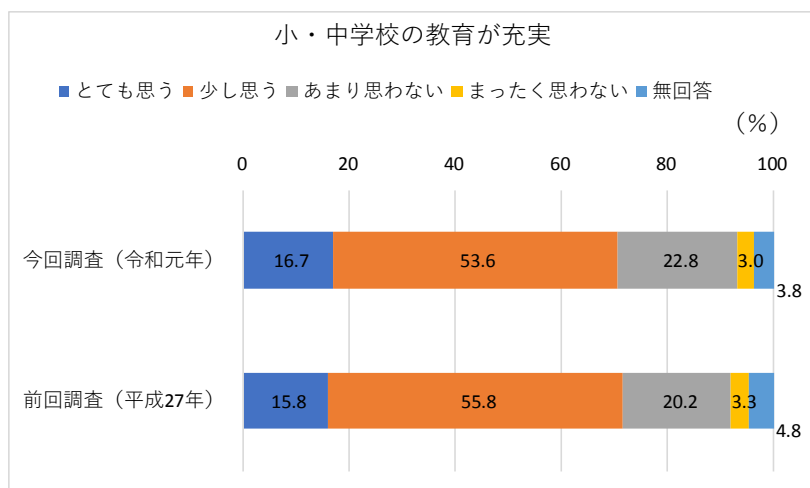
問6-9 交通が便利		1 とても 思う	2 少し 思う	3 あまり 思わ ない	4 ま つ た く 思 わ な い	無 回 答	回 答 者 総 数
回答者総数 (全体)		23.2	38.0	24.5	12.5	1.8	891
性 別	男	21.3	39.3	23.3	13.8	2.3	399
	女	24.9	36.9	25.5	11.4	1.2	490
	その他	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	2
年 代	18～20歳代	39.2	30.4	17.7	6.3	6.3	79
	30歳代	24.0	35.7	26.4	11.6	2.3	129
	40歳代	22.6	35.8	28.3	12.6	0.6	159
	50歳代	21.2	40.6	24.2	13.3	0.6	165
	60歳代	17.1	43.7	24.8	13.5	0.9	222
	70歳代	26.7	35.6	22.2	14.1	1.5	135
	80歳代	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居 住 地 区	南河内地区	18.1	38.5	26.6	15.1	1.6	304
	石橋地区	23.8	39.3	24.1	11.7	1.0	290
	国分寺地区	27.7	37.5	22.1	10.9	1.8	285
	無回答	33.3	8.3	33.3	0.0	25.0	12

問6-9-1 電車の利用が便利		1 とても思う	2 少し思う	3 あまり思わない	4 まったく思わない	無回答	回答者総数
回答者総数（全体）		42.2	36.6	13.7	6.5	1.0	891
性別	男	39.8	35.6	14.8	8.3	1.5	399
	女	44.1	37.6	12.9	5.1	0.4	490
	その他	-	-	-	-	-	0
	無回答	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
年代	18～20歳代	50.6	35.4	8.9	5.1	0.0	79
	30歳代	44.2	35.7	13.2	7.0	0.0	129
	40歳代	41.5	39.0	15.1	3.8	0.6	159
	50歳代	47.3	35.2	9.7	7.3	0.6	165
	60歳代	36.0	39.6	15.8	7.2	1.4	222
	70歳代	40.7	32.6	17.0	8.1	1.5	135
	80歳代	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居住地区	南河内地区	34.9	40.5	15.8	7.9	1.0	304
	石橋地区	34.8	40.7	16.6	7.2	0.7	290
	国分寺地区	57.5	29.1	8.1	4.6	0.7	285
	無回答	41.7	16.7	25.0	0.0	16.7	12

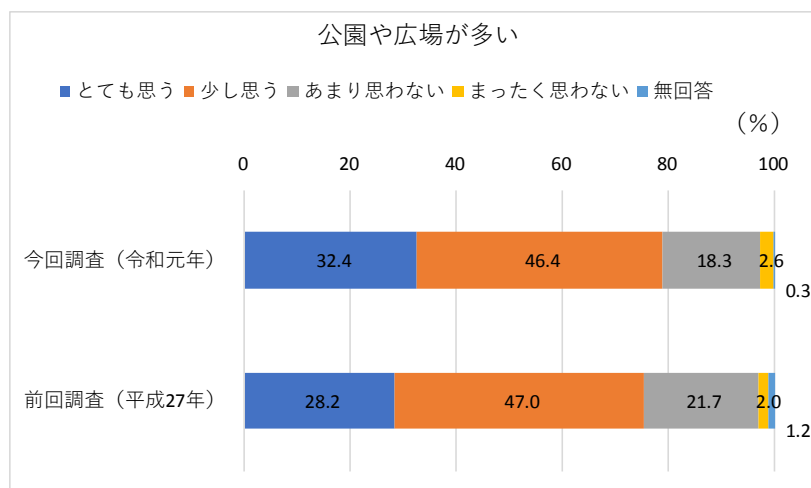
問6-9-2 バスの利用が便利		1 とても思う	2 少し思う	3 あまり思わない	4 まったく思わない	無回答	回答者総数
回答者総数（全体）		3.6	12.3	41.1	40.9	2.1	891
性別	男	2.8	11.3	39.1	44.6	2.3	399
	女	4.3	13.3	42.7	38.0	1.8	490
	その他	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	2
年代	18～20歳代	7.6	16.5	46.8	29.1	0.0	79
	30歳代	4.7	13.2	40.3	41.9	0.0	129
	40歳代	5.0	13.2	44.0	37.7	0.0	159
	50歳代	2.4	9.7	32.1	55.2	0.6	165
	60歳代	2.3	11.3	42.8	40.1	3.6	222
	70歳代	2.2	13.3	43.7	34.8	5.9	135
	80歳代	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居住地区	南河内地区	1.6	6.3	34.5	55.6	2.0	304
	石橋地区	6.9	21.4	45.5	24.5	1.7	290
	国分寺地区	2.5	9.8	43.5	42.1	2.1	285
	無回答	0.0	8.3	41.7	33.3	16.7	12



問6-10 道路・歩道が安全		1 とも思う	2 少し思う	3 あまり思わない	4 まったく思わない	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		15.0	49.2	27.8	6.2	1.8	891
性別	男	9.0	49.9	31.8	7.8	1.5	399
	女	20.0	48.6	24.7	4.9	1.8	490
	その他	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	2
年代	18～20歳代	22.8	54.4	17.7	3.8	1.3	79
	30歳代	18.6	46.5	25.6	8.5	0.8	129
	40歳代	8.8	50.3	32.1	8.2	0.6	159
	50歳代	13.3	53.3	26.7	5.5	1.2	165
	60歳代	13.1	45.5	33.3	6.3	1.8	222
	70歳代	20.0	48.9	23.7	3.7	3.7	135
	80歳代	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居住地区	南河内地区	22.4	47.0	21.4	7.6	1.6	304
	石橋地区	11.4	47.9	33.4	5.9	1.4	290
	国分寺地区	10.9	51.9	30.2	5.3	1.8	285
	無回答	16.7	66.7	0.0	0.0	16.7	12

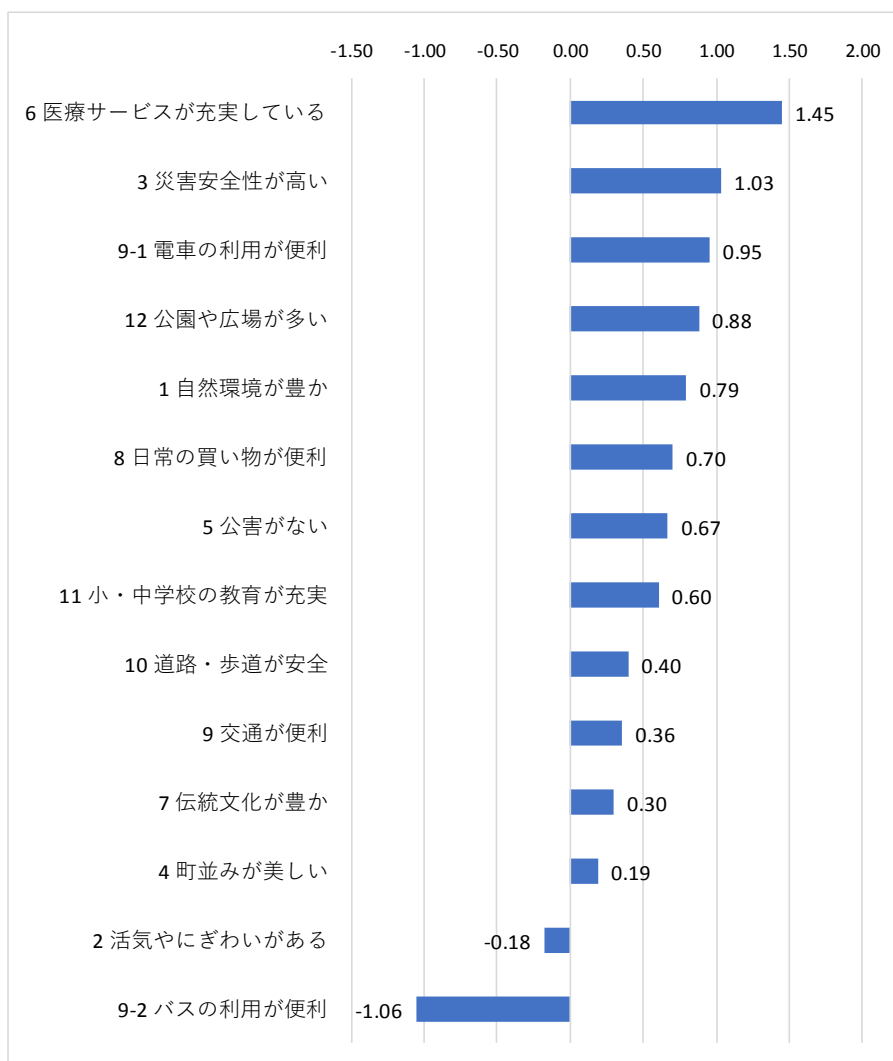


問6-11 小・中学校の教育が充実		1 とても思う	2 少し思う	3 あまり思わない	4 まったく思わない	無回答	回答者総数
回答者総数（全体）		16.7	53.6	22.8	3.0	3.8	891
性別	男	11.8	54.1	26.1	3.8	4.3	399
	女	20.8	53.3	20.2	2.4	3.3	490
	その他	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	2
年代	18～20歳代	21.5	48.1	27.8	1.3	1.3	79
	30歳代	19.4	49.6	23.3	4.7	3.1	129
	40歳代	18.9	54.1	21.4	4.4	1.3	159
	50歳代	17.0	53.9	23.6	3.6	1.8	165
	60歳代	11.3	58.1	23.4	2.3	5.0	222
	70歳代	17.8	53.3	19.3	1.5	8.1	135
	80歳代	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居住地区	南河内地区	24.0	49.0	19.7	3.9	3.3	304
	石橋地区	13.4	54.8	26.6	1.7	3.4	290
	国分寺地区	11.9	57.9	22.5	3.5	4.2	285
	無回答	25.0	41.7	16.7	0.0	16.7	12



問6-12 公園や広場が多い		1 とても思う	2 少し思う	3 あまり思わない	4 まったく思わない	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		32.4	46.4	18.3	2.6	0.3	891
性別	男	23.3	51.1	21.6	3.5	0.5	399
	女	39.8	42.7	15.7	1.8	0.0	490
	その他	-	-	-	-	-	0
	無回答	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
年代	18～20歳代	45.6	38.0	15.2	1.3	0.0	79
	30歳代	41.1	40.3	16.3	2.3	0.0	129
	40歳代	30.8	50.3	17.0	1.9	0.0	159
	50歳代	28.5	51.5	18.2	1.8	0.0	165
	60歳代	27.9	45.5	23.0	3.6	0.0	222
	70歳代	31.1	48.1	16.3	3.7	0.7	135
	80歳代	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居住地区	南河内地区	46.1	37.5	13.2	3.3	0.0	304
	石橋地区	21.7	48.6	26.2	3.1	0.3	290
	国分寺地区	28.8	53.7	16.1	1.4	0.0	285
	無回答	33.3	41.7	8.3	0.0	16.7	12

### ■加重平均



※加重平均値 = (「とても思う」×2 + 「少し思う」×1 - 「あまり思わない」×1 - 「まったく思わない」×2)  
 ÷ (無回答を除く回答者数)

加重平均でも、「医療サービスが充実している」や「災害安全性が高い」が上位となっており、また、「電車の利用が便利」であると思われるのに対して「バスの利用が便利」とは思われていません。

「活気やにぎわいがある」についても、そう思われていないことから、バス交通とともに重点課題となっていると思われます。



### ③下野市の自慢できるもの（こと）

問7 あなたが、下野市で、「自慢できるもの、自慢できること」や「将来に大切に残したいもの、残したいこと」は何ですか。ご自由にご記入ください。

歴史的文化的資源や自然環境、自治医大をはじめとした医療サービスなどをはじめとして、自慢できるもの、残したいものなどの記述がありました。

以下に、主なものを紹介します。

【住みやすいまち】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県都宇都宮と県第二の都市小山市の間に位置し、両市への移動手段、時間に優れつつも、両市にはない静かな住宅街が多く、住みやすい街である。</li> <li>・やはり何といても駅前に大型スーパーや病院医療関係、郵便局、銀行があり、大変便利で住みやすいです。街並みもきれいです。</li> <li>・先日の住み良さランキングで下野市が上位に入っていたこと、道の駅しもつけが県内外の人達に人気なことが自慢です。</li> <li>・住み良さランキングにおいて上位であること。</li> <li>・自慢できること→下野市は“住みやすい田舎”であること。</li> </ul>
【コンパクトなまち】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住む上でものすごく便利ではないが、特別に不満に思うこともない、コンパクト感。</li> <li>・県内市で最小面積の市だが、3駅有しており、都心まで続く国道、新4号も通っていて交通に便利。</li> </ul>
【歴史・文化のまち】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定史跡、下野薬師寺跡、下野国分寺跡、下野国分寺尼寺跡をしっかり整備管理して後世に伝えてゆく。またそれに関する歴史文献も整備して小学校の学習内容に繰り入れる。</li> <li>・下野国分寺跡や下野薬師寺跡等の文化財は、とても自慢できるものだと思います。</li> <li>・文化財や祭り。自然。どちらも成人した子供が都内の友人に（少しバカにされても？）自慢するところ。また、地域同士のつながりの深さも都内の友人には理解されない（できない）良いところ、と言っている。このつながりを保っているのも文化財や祭りの効果かも？</li> <li>・下野市にはたくさんの伝統文化があります。大小に拘わらず、一つでも多くを将来に残せるよう個々が傍観者としてではなく関心を持って参加してくれると良いのですが……。これまでもたくさんの方々が地域の活性化に努力されていらっしゃいますが、まちに賑わいがあってこそ、たくさんの史跡や文化財が活けると思います。「住みやすい環境」「史跡」や「伝統文化」「適度な田舎感」自慢の町です。</li> </ul>
【医療と健康のまち】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・下野市には病院が多く、1人に対しての病院数は全国1位と聞いてうれしく思いました。特に近くに産婦人科が出来たことは喜ばしい。出産が出来る環境が増えたことです。</li> <li>・自慢できるもの→自治医大と多くの医療施設。残したい事→希少な動植物の生育・生息環境及びそれを守る人の活動。ホテル、トウサワトラノオ以外も。</li> <li>・健康診断の実施（がん検診無料化）。「健康で長生きしましょう」スローガン。</li> <li>・町並みが美しい。自治医大周辺のブランドイメージが強い点。</li> </ul>
【自然豊かなまち】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・森や林が多いのでいつまでも残しておいて欲しい。朝、散歩していても空気がきれいです。</li> <li>・街の中を見渡すと四季折々の花が咲いていて、特に桜の時期になるとあちらこちらでその美しい景色を見ることが出来ます。この景色が残ってほしいと思います。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• よく天平の丘公園を散策していますが、小さな小川にアメンボや川エビを沢山見かけました。子供の頃に見かけた以来の発見だったので感激しました。小さな生き物が自然に沢山生きている公園、森林が大切に残っていることを願います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 下野市の水は地下水と聞いています。ダムに頼らない自前の地下水を大切に将来に残したい。南河内地区は住民の政治への意識が高いと感じます。女性議員の多いこと、自慢できます。</li> </ul>
<p><b>【コミュニティ豊かなまち】</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 朝洗濯物をしていると、登校中の小学生達が元気良く笑顔で「おはようございます！」とあいさつをしてくれました。子ども達が笑顔で自ら率先してあいさつしてくれたこと、とても心に残っています。子ども達が笑顔で元気に過ごせる下野市、とても素敵です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中学生が地域のイベントの協力をするのはとても良いことだと思う。(イルミネーションの準備など) ボランティアなどでの交流をもっと欲しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 震災の3日後にここでの生活がスタートしましたが、住みやすさと人々の親しみやすさ、温もりに感謝しています。</li> </ul>
<p><b>【子育てを応援するまち】</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子育てしやすい街づくりになっていて、児童館や子育て広場・公園などが充実している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 私の子供の時からある、子供たちへ市長から表彰状がもらえる制度。あれは今後も続けてほしいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子育てのしやすさ。(認定こども園が多い、医療費助成、未就園教室、病後児保育等) 学童もやっているのはありがたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 児童館や子育て支援センターが多く、イベントも充実していてとても恵まれていると思う。夏休みなど子供と外に出ることができる場所があることに救われます。</li> </ul>
<p><b>【自然災害の少ないまち】</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自然災害の心配が少なく、安心して生活できる事。</li> </ul>
<p><b>【おいしい農産物のあるまち】</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 米や野菜等、地元の食材が豊富にあり、買いやすい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• かんぴょうの生産量・栽培面積日本一。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自慢できるものは「かんぴょう」と「いちご」です。残したいものは「すべての史跡」です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 伝統料理「しもつかれ」に関して、小さい頃にはお世辞にも美味しいとは言えないと思っていても、時が経つにつれて好物になっていく思い出は、ここ下野で育ったことのある種の証明のようなものであり、下の世代の今の子供達が大きくなった時に、同じ様な経験を笑い話にしている姿を目にできたら素敵だなと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自然災害が少なく農産物が新鮮で安価なことが自慢出来ます。農家の高齢により土地が荒れていることは悲しいことから、将来も土地が荒れないような政策をしていただきたい。</li> </ul>
<p><b>【イベントのあるまち】</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 毎年行っている「グリムの森のイルミネーション」はすばらしいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• グリムの森のイルミネーションが自慢できるものです。</li> </ul>
<p><b>【公園のあるまち】</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公園や広場が整備されていること。大松山運動公園は自慢したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大松山公園が整備されたので、公園・図書館・プール等1箇所ですべて総合的にレジャーを楽しむことができる。</li> </ul>

### (3) 行政施策の満足度・重要度

#### ①施策別満足度・重要度

問8 ①これまでの行政施策の満足度、②今後の行政施策の重要度について、最もあなたのお気持ちに近いものを、それぞれひとつずつ選んで、その番号を○で囲んでください。

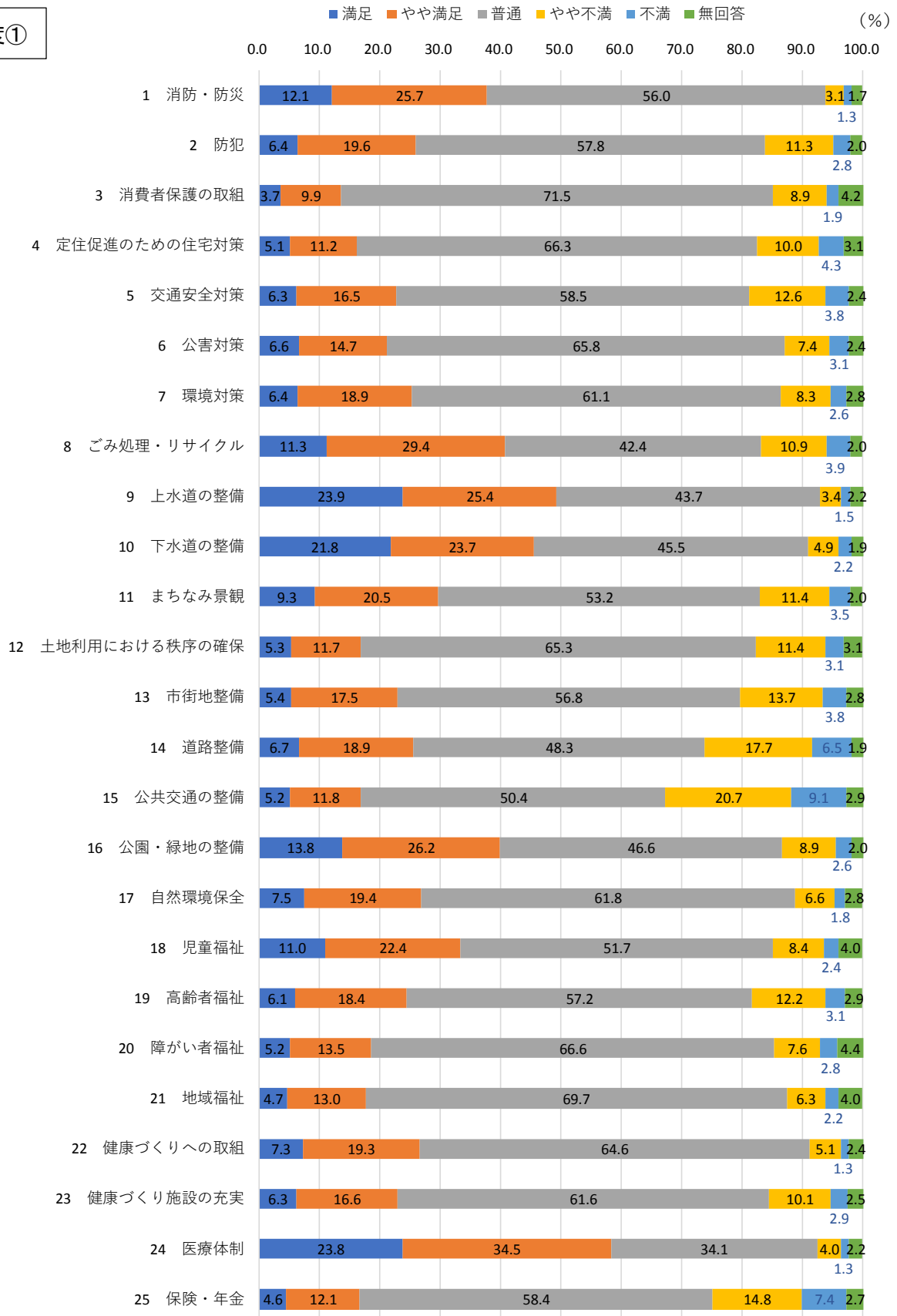
#### 【満足度】

満足度の高い施策は、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が最も多いのは「医療体制の充実」であり、58.3%と唯一50%を超えています。また、「上水道の整備」や「下水道の整備」、「ごみ処理・リサイクル」についても40%台と比較的満足度が高くなっています。

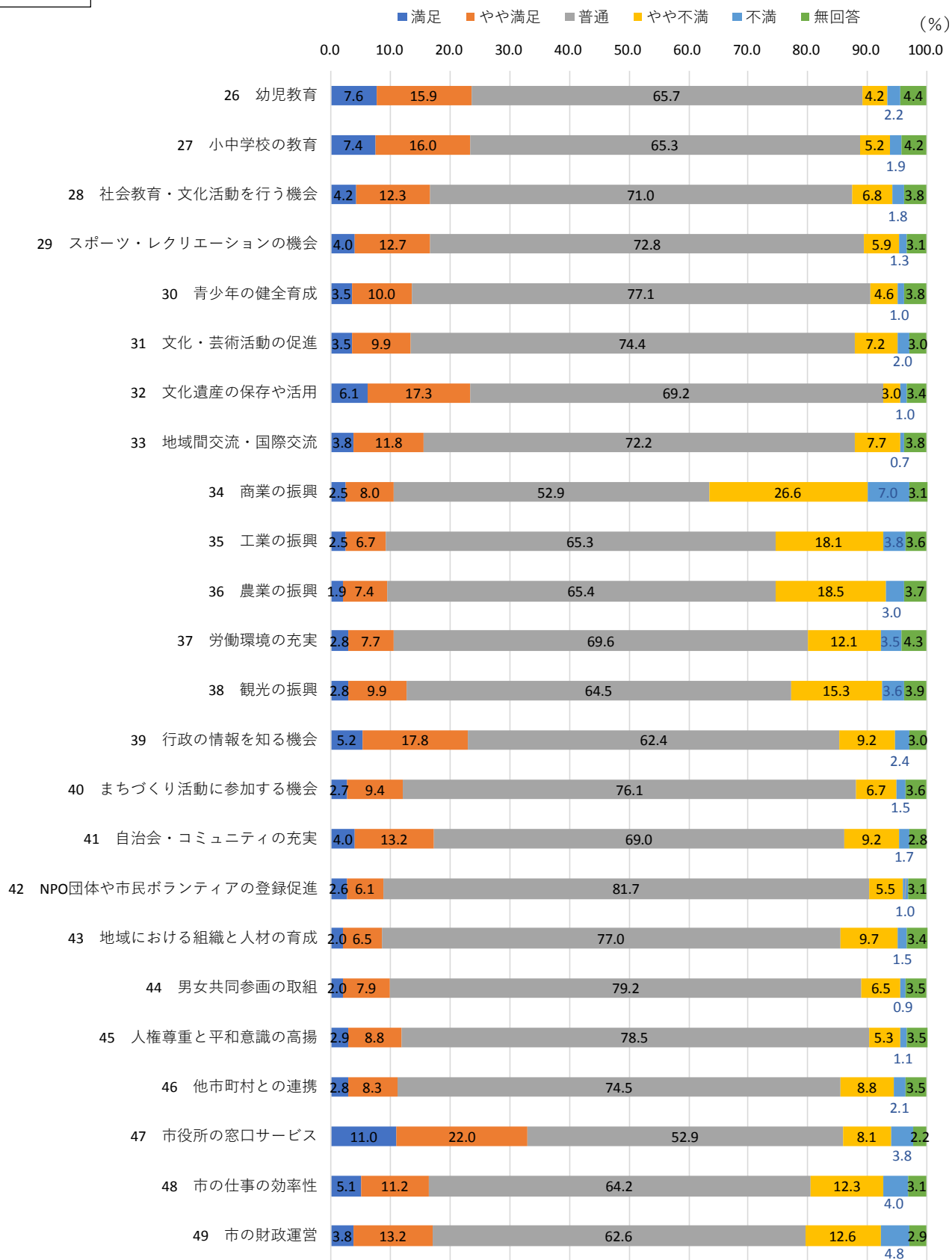
#### 【重要度】

重要度の高い施策は、「重要」と「やや重要」を合わせた“重要”が最も多いのは「防犯」であり、80.1%と唯一80%を超えています。また、「医療体制の充実」も2位に入っているほか、「消防・防災」も高い割合となっています。

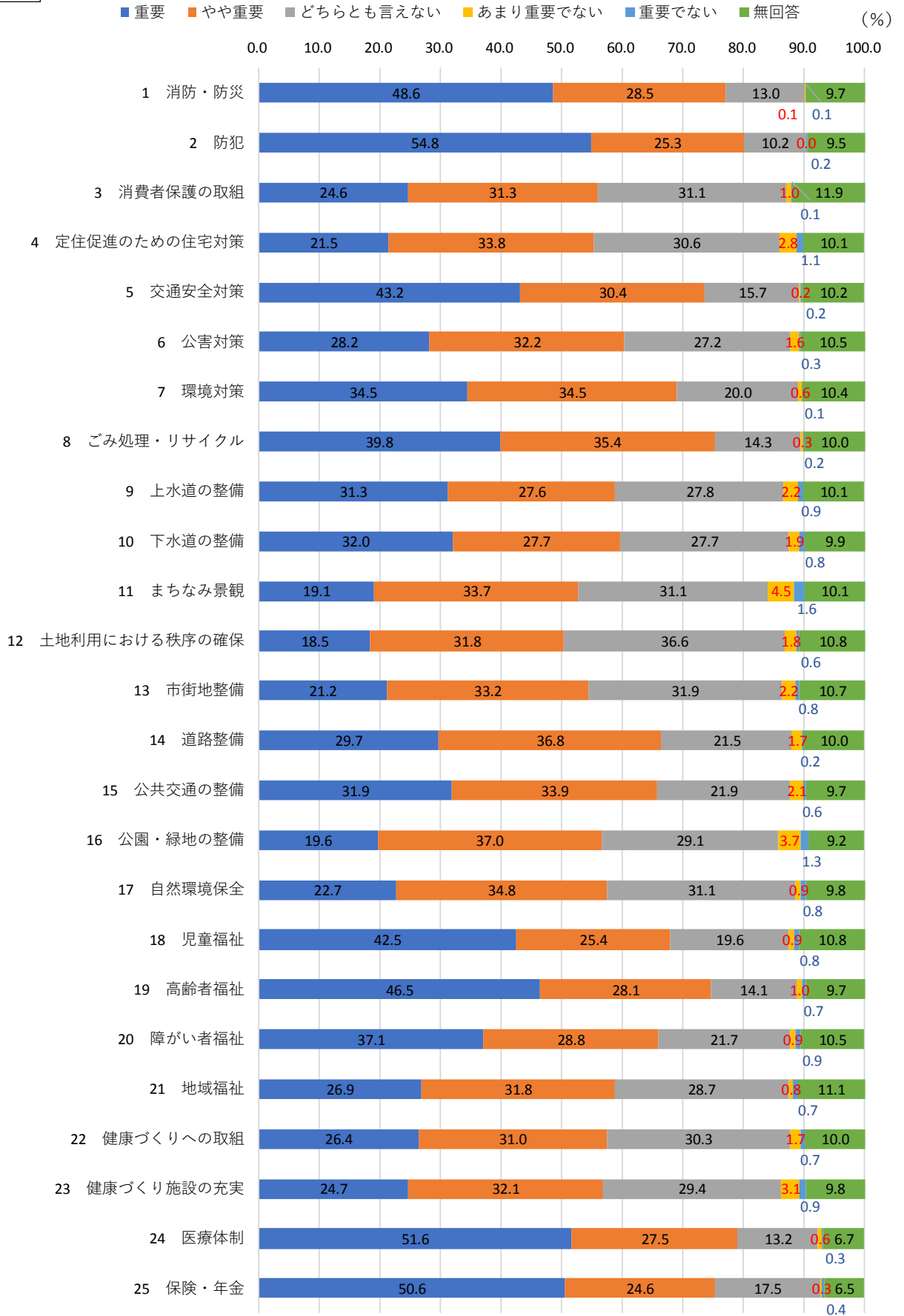
満足度①



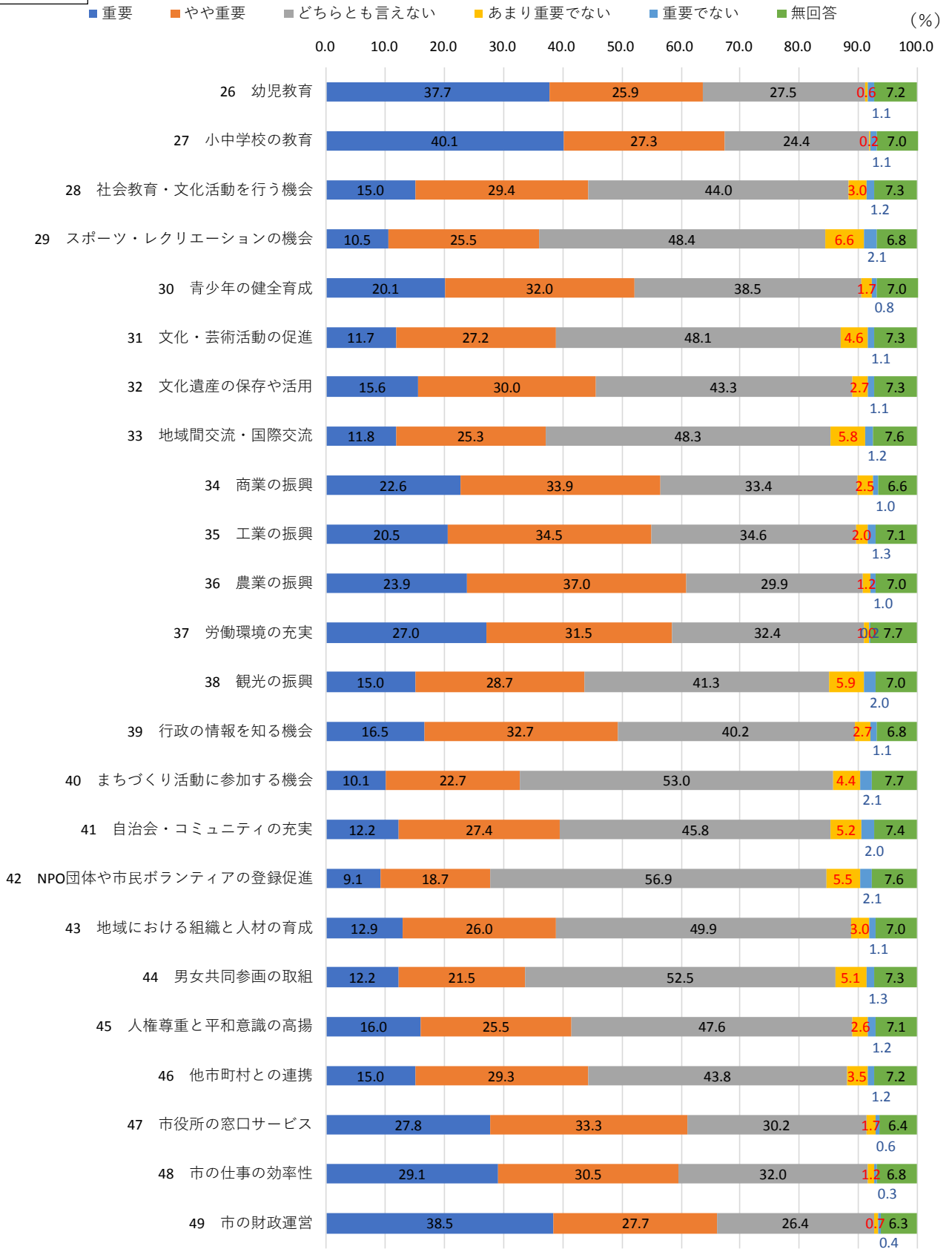
満足度②



重要度①



## 重要度②



## 加重平均

回答結果について、加重平均を算出して比較します。

### 【加重平均・満足度】

満足度の高い施策は、「医療体制の充実」、「上水道の整備」、「下水道の整備」、「消防・防災」などとなっています。前回調査では「上水道の整備」が第一位であり、一位と二位の順が入れ替わっています。

満足度の低い施策は、「商業の振興」であり、「工業の振興」、「農業の振興」などを含め、“産業振興”に関わる施策への満足度が低くなっています。また、「公共交通の整備」の満足度も低くなっています。

### 【加重平均・重要度】

重要度の高い施策は、「防犯」、「医療体制の充実」、「消防・防災」などとなっています。前回調査では「消防・防災」が第二位、「医療体制の充実」が第三位であり、二位と三位の順が入れ替わっています。

重要度の低い施策は、「NPO 団体や市民ボランティアの登録促進」であり、前回同様最下位となっています。

### <加重平均の算出方法>

$$\begin{aligned} \text{※加重平均・満足度} &= (\text{「満足」} \times 2 + \text{「やや満足」} \times 1 - \text{「やや不満」} \times 1 - \text{「不満」} \times 2) \\ &\div (\text{無回答を除く回答者数}) \end{aligned}$$

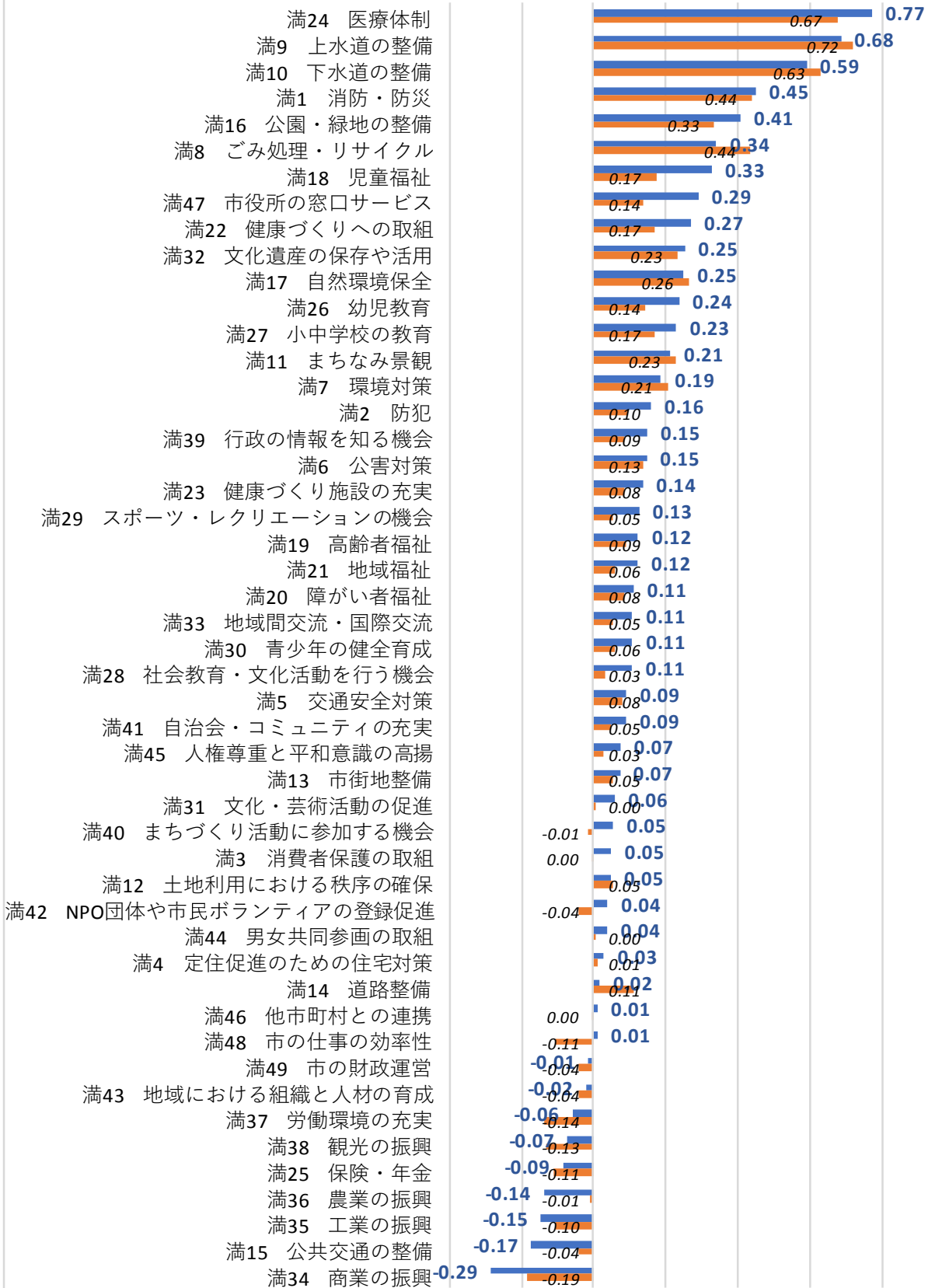
$$\begin{aligned} \text{※加重平均・重要度} &= (\text{「重要」} \times 2 + \text{「やや重要」} \times 1 - \text{「あまり重要でない」} \times 1 - \text{「重要でない」} \times 2) \\ &\div (\text{無回答を除く回答者数}) \end{aligned}$$



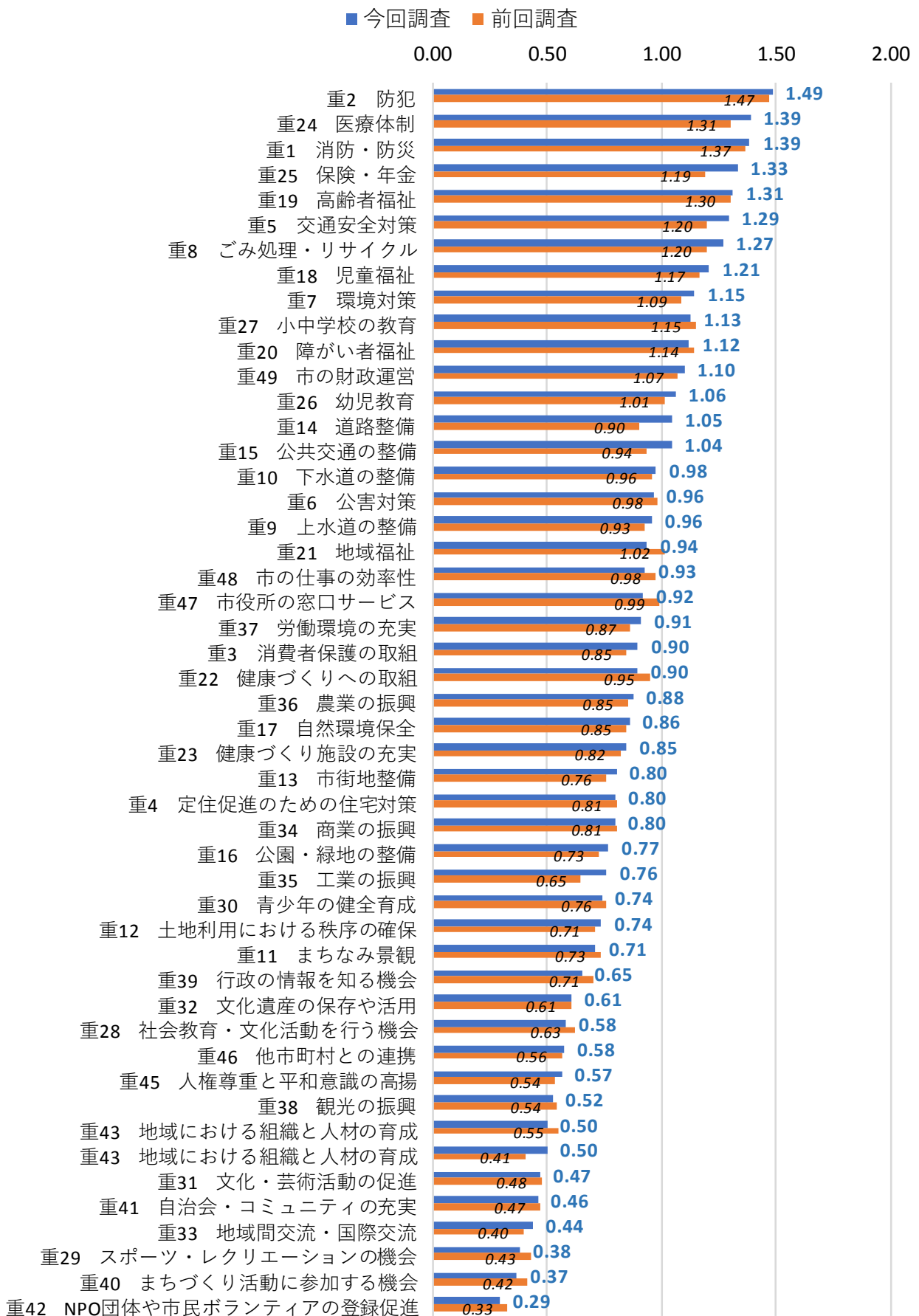
## 満足度（加重平均）

■ 今回調査 ■ 前回調査

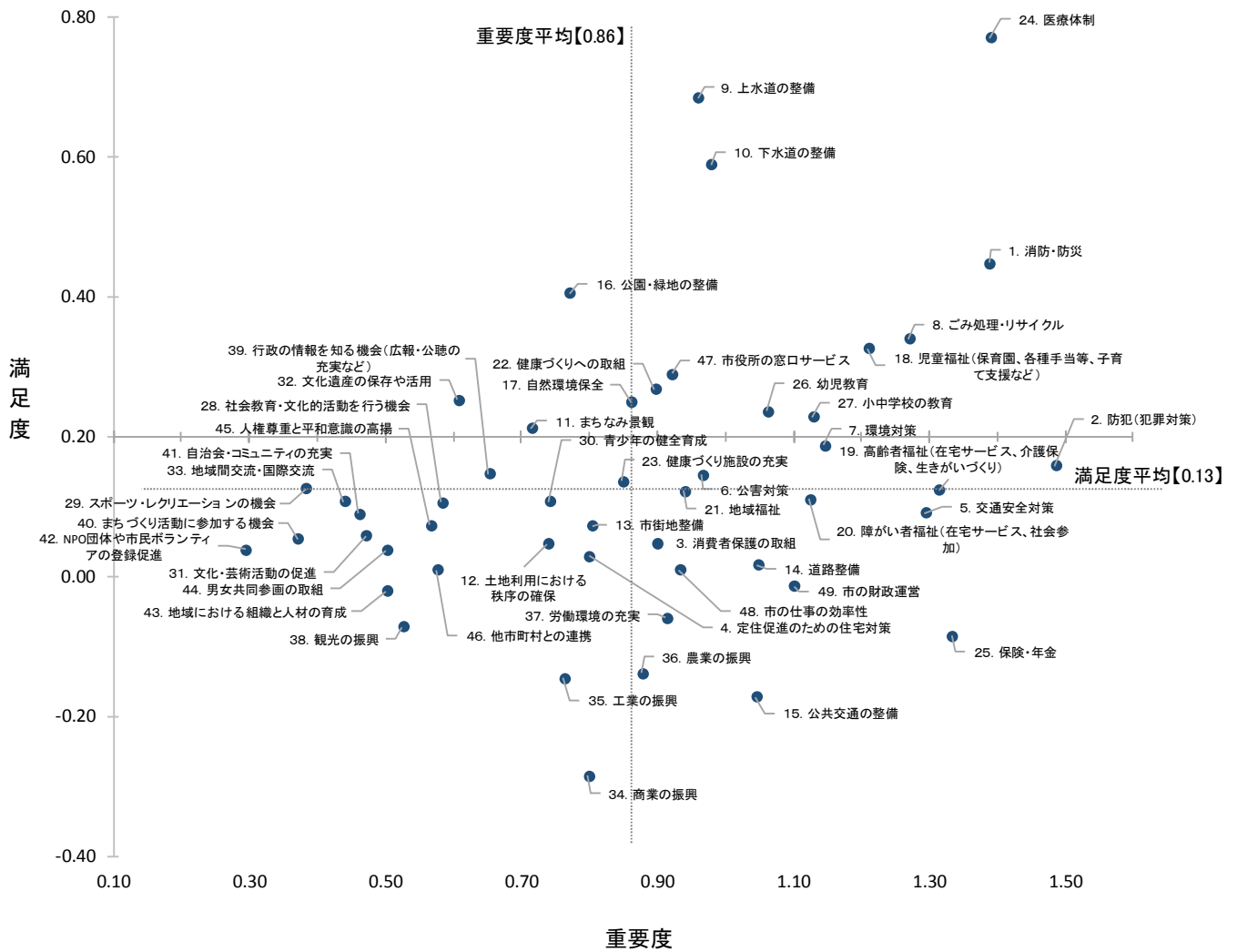
-0.40 -0.20 0.00 0.20 0.40 0.60 0.80 1.00



## 重要度（加重平均）



散布図（満足度×重要度）

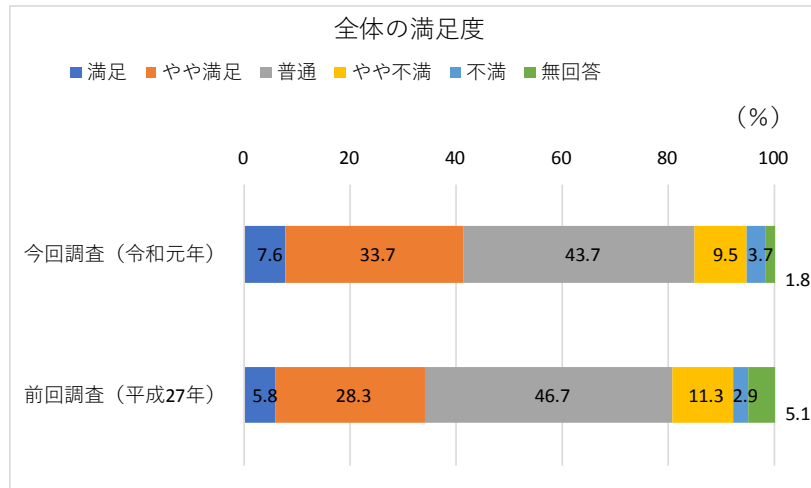


	満足度	重要度
1. 消防・防災	0.45	1.39
2. 防犯（犯罪対策）	0.16	1.49
3. 消費者保護の取組	0.05	0.90
4. 定住促進のための住宅対策	0.03	0.80
5. 交通安全対策	0.09	1.29
6. 公害対策	0.15	0.96
7. 環境対策	0.19	1.15
8. ごみ処理・リサイクル	0.34	1.27
9. 上下道の整備	0.68	0.96
10. 下水道の整備	0.59	0.98
11. まちなみ景観	0.21	0.71
12. 土地利用における秩序の確保	0.05	0.74
13. 市街地整備	0.07	0.80
14. 道路整備	0.02	1.05
15. 公共交通の整備	-0.17	1.04
16. 公園・緑地の整備	0.41	0.77
17. 自然環境保全	0.25	0.86
18. 児童福祉（保育園、各種手当等、子育て支援など）	0.33	1.21
19. 高齢者福祉（在宅サービス、介護保険、生きがいづくり）	0.12	1.31
20. 障がい者福祉（在宅サービス、社会参加）	0.11	1.12
21. 地域福祉	0.12	0.94
22. 健康づくりへの取組	0.27	0.90
23. 健康づくり施設の充実	0.14	0.85
24. 医療体制	0.77	1.39

25. 保険・年金	-0.09	1.33
26. 幼児教育	0.24	1.06
27. 小中学校の教育	0.23	1.13
28. 社会教育・文化的活動を行う機会	0.11	0.58
29. スポーツ・レクリエーションの機会	0.13	0.38
30. 青少年の健全育成	0.11	0.74
31. 文化・芸術活動の促進	0.06	0.47
32. 文化遺産の保存や活用	0.25	0.61
33. 地域間交流・国際交流	0.11	0.44
34. 商業の振興	-0.29	0.80
35. 工業の振興	-0.15	0.76
36. 農業の振興	-0.14	0.88
37. 労働環境の充実	-0.06	0.91
38. 観光の振興	-0.07	0.52
39. 行政の情報を知る機会（広報・公聴の充実など）	0.15	0.65
40. まちづくり活動に参加する機会	0.05	0.37
41. 自治会・コミュニティの充実	0.09	0.46
42. NPO団体や市民ボランティアの登録促進	0.04	0.29
43. 地域における組織と人材の育成	-0.02	0.50
44. 男女共同参画の取組	0.04	0.50
45. 人権尊重と平和意識の高揚	0.07	0.57
46. 他市町村との連携	0.01	0.58
47. 市役所の窓口サービス	0.29	0.92
48. 市の仕事の効率性	0.01	0.93
49. 市の財政運営	-0.01	1.10

## ②まちづくり全体の満足度

問9 下野市のまちづくり全体への満足度について、最もあなたのお気持ちに近いものはどれですか。〈〇は1つ〉



まちづくり全体の満足度については、「満足」が7.6%、「やや満足」が33.7%、合わせて“満足”が41.3%であり、「普通」は43.7%です。

加重平均でみると、性別では「女性」のほうが満足度が高く、年代別では「18～20歳代」、「30歳代」といった若い世代で満足度が高くなっています。

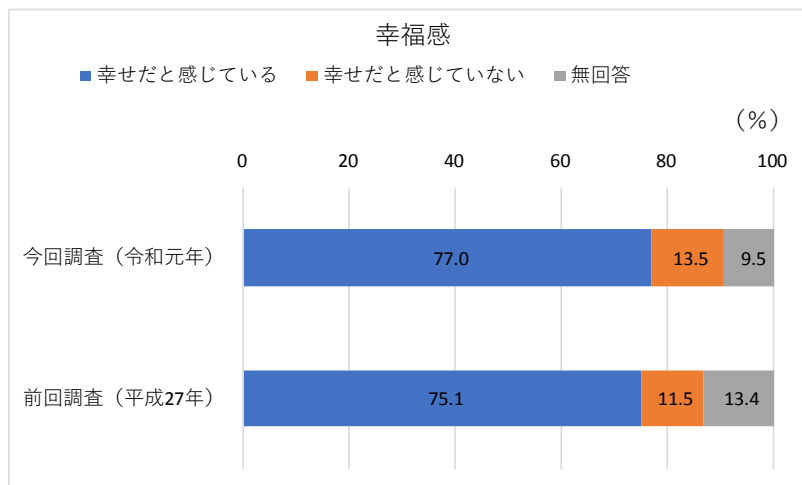
問9 全体の満足度	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満	無回答	回答者総数	加重平均	
回答者総数 (全体)	7.6	33.7	43.7	9.5	3.7	1.8	891	0.33	
性別	男	6.0	34.3	41.4	11.8	5.3	399	0.24	
	女	9.0	33.3	45.5	7.8	2.4	490	0.39	
	その他	-	-	-	-	-	0		
	無回答	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	2	
年代	18～20歳代	13.9	36.7	38.0	6.3	3.8	79	0.51	
	30歳代	14.0	39.5	31.8	8.5	6.2	129	0.47	
	40歳代	8.8	34.6	43.4	10.7	1.9	159	0.38	
	50歳代	5.5	32.7	46.1	7.9	5.5	165	0.25	
	60歳代	3.2	31.5	47.7	14.4	2.3	222	0.19	
	70歳代	6.7	30.4	49.6	5.2	3.0	135	0.34	
	80歳代	-	-	-	-	-	-	0	
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	2	
居住地区	南河内地区	11.5	33.6	39.1	10.9	3.3	304	0.40	
	石橋地区	3.8	35.5	43.8	11.7	3.8	290	0.24	
	国分寺地区	7.0	32.3	48.8	6.3	3.5	285	0.34	
	無回答	16.7	25.0	33.3	0.0	16.7	8.3	12	

#### (4) 幸福感について

##### ①下野市での生活の幸福感

問10 あなたは、下野市で生活していて幸せだと感じますか。 <〇は1つ>

また、その理由を具体的にお書きください。



下野市での生活への幸福感は、「幸せだと感じている」が77.0%、「幸せだと感じていない」が13.5%となっています。前回調査と概ね同様の結果です。

問10 幸福感		1 幸せ だと 感じて いる	2 い 幸せ だと 感じて いな	無 回 答	回 答 者 総 数
回答者総数 (全体)		77.0	13.5	9.5	891
性 別	男	74.4	16.3	9.3	399
	女	79.2	11.2	9.6	490
	その他	-	-	-	0
	無回答	50.0	0.0	50.0	2
年 代	18~20歳代	79.7	11.4	8.9	79
	30歳代	78.3	16.3	5.4	129
	40歳代	74.8	15.7	9.4	159
	50歳代	82.4	10.3	7.3	165
	60歳代	73.4	13.1	13.5	222
	70歳代	77.0	13.3	9.6	135
	80歳代	-	-	-	0
	無回答	0.0	50.0	50.0	2
	居 住 地 区	南河内地区	78.3	11.8	9.9
石橋地区		73.4	15.9	10.7	290
国分寺地区		79.3	13.0	7.7	285
無回答		75.0	8.3	16.7	12

記入いただいた理由について、主なものを以下に紹介します。（複数の意見を書いている場合は一か所に掲載）

### 【幸せだと感じている】

<b>【暮らしやすいまち】</b>
・生活のしやすさ。（公共交通（JR）が便利でスーパーも近くにあり、歩いて暮らせる）
・都会すぎず田舎すぎず、便利すぎず不便すぎず、私にとっては丁度良い街です。
・基本的な環境は整っており、生活上大きな問題を感じていない。
・とても住み良い街だと思います。職場や医療機関等に恵まれ、尊敬するたくさんの人との出会いがありました。感謝です。
・全てにおいて割と充実していると思うから。（医療、交通、環境など…）
・災害が少なく、野菜がおいしいなど暮らしやすい町であるため日々の生活に満足しているから。
・生活水準を維持していくことが無理なく出来ているから。
・第1印象として“生活しやすい”。初めての一人暮らしでも不自由なく過ごせた。交通アクセスも良いので実家の行き来も楽ちん。
・住みやすい。環境は田舎、人間関係は都会。
<b>【便利なまち】</b>
・医療や買い物の場が安定しており、引っ越してきてすぐに不便がないと感じたので。
・便利。近所が過干渉でも無関心でもなくちょうど良い。
・最悪車が運転できなくても（栃木県内では大変少ない事）生きていける。一種のコンパクトシティ化されている所。
<b>【コミュニティ豊かなまち】</b>
・近所や地域にトラブルが無い。自治会もしっかりしていて、平和に生活できているところ。
・自分が生まれ育った所なので、古くから知っているご近所さん、やさしい地域性に安心して暮らしてきたからです。
・地域コミュニティがしっかりしている。
・近所との関係も良好ですし、買い物や通院にも困りません。電車は快速がとまり、都心へのアクセスも良好。住民も良識のある人が多いので。
<b>【住みなれたまち】</b>
・家族と共に30年、この地で暮らして、子供たちも自立した今、これまでの家族の思い出がここにあるから。
<b>【子育てしやすいまち】</b>
・子供の医療費助成制度が高3まで拡大し、子育てしやすい街であると感じている。
・子育てしていて、公園や施設が充実しているから。
・子供が小学校が楽しいと言っている。図書館と公園が一緒になっているので遊びに連れて行きやすい。
・小中学校が近い。子育てしやすい環境が整っているため、3人産んでも正社員で働ける（実家が遠方でも）。
<b>【災害が少ないまち】</b>
・良い環境に恵まれ、災害の少ない町で住みやすい。
<b>【自然豊かなまち】</b>
・不便を感じる事はあるが、自然が多くゆっくりと生活ができる。
<b>【健康・元気でいられる】</b>
・下野市に住んでいるからという事ではないが、健康でいる事は大変幸せな事だと感じる。
・家族が元気に朗らかに生活できるから。一時期子供が不登校になってしまったが、「スマイル教室」を利用して、精神的にも少し楽になった事があります。

【その他】

- 家で楽しく暮らしている。それほど大きな障害がない。庭で植物を育てる楽しみがある。
- 希望して転居したので、今現在は幸せと思う、思いたい。
- 困っていないから。
- 不幸だとは感じていないので…。

【幸せだと感じていない】

【不便、地域間格差がある】

- どちらとも言えませんが、近くに公園があるわけでもなく、買物に行くのも若干遠く、下野の端っこなので公共施設までも行く気がしません。
- 郊外に住む者は交通の便が悪く、交通手段のない家族や友人を招くことができない。近頃自然災害に対しても不安を抱いている。
- 下野市内の各地域を比較した場合、地域間格差があり過ぎる！

【商業施設などが少ない】

- スーパーが少ない。飲食店が少ない。車がないと不便（バスがない。デマンドも利用に限りがある。車イス、ベビーカーNGとか）。
- ショッピングモールや映画館、カラオケ、ボーリング、スポーツジムなどがあつたらもっといい町になる。

【下野市に住んで間もない】

- 下野市で生活を始めてまだ年数が経過していないので、まだ「幸福感」について評価できる状態ではなく、何とも言えません。

【近所づきあいが負担】

- 旧住民からは昔からの習慣や価値観を押し付けられ、一方で新住民は悪い意味での個人主義でバラバラである。ずーっとここで暮らすのかと思うと気が塞ぐことがあります。

【一人暮らしのため】

- 1人で生活しているので何かあった場合心配です。
- 高齢者の一人暮らし対策が不十分、交流がない。

【特徴のないまち】

- どちらとも言えない。宇都宮と小山の中間地点で特色がない。

【知人・友人が少ない】

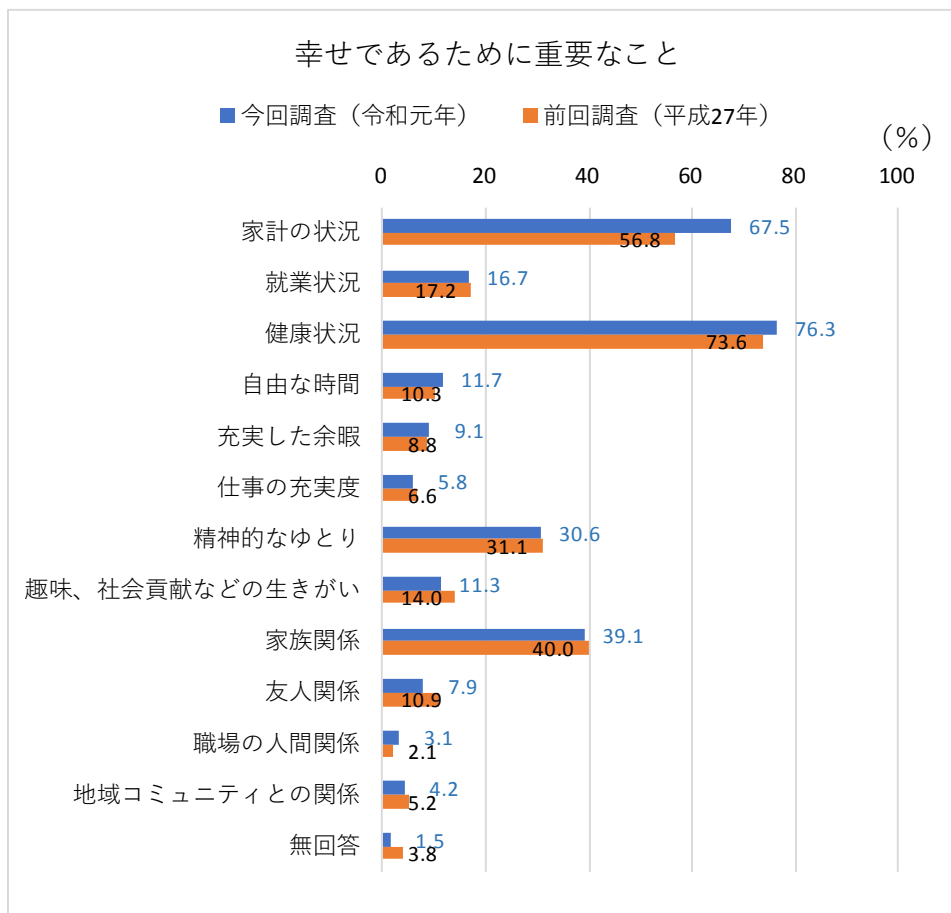
- 同年代の友人が少ない。子供の小学校が1学年1クラスで友人関係の幅が狭い。

【その他】

- 下野市だから良かったということではない。
- スポーツ振興課は、本当に振興する気があるのか？今のままでは、施設の管理・貸出窓口だと思う。
- こんなにすごいぞ下野市！も、他のところと比べてみれば、たまたまそうであったのかとすることで、それは先人が残してくれた財産。今やるべきことは、JR宇都宮線・医療機関の優位性を基盤に30年後・40年後を見据え、今子育て中の世代が高齢者になった時、住み続けて良かったな、と実感できる下野市にしておくことでしょう。

## ②幸せであるために重要なこと

問11 あなたが「幸せ」であるために重要だと思うことは何ですか。〈〇は3つまで〉



問11 幸せであるために重要なこと	1 家計の状況	2 就業状況	3 健康状況	4 自由な時間	5 充実した余暇	6 仕事の充実度	7 精神的なゆとり	8 趣味、社会貢献などの生きがい	9 家族関係	10 友人関係	11 職場の人間関係	12 地域コミュニティとの関係	無回答	回答者総数	
回答者総数 (全体)	67.5	16.7	76.3	11.7	9.1	5.8	30.6	11.3	39.1	7.9	3.1	4.2	1.5	891	
性別	男	62.4	18.0	74.4	14.3	9.8	7.5	30.3	39.6	5.8	3.0	4.3	1.3	399	
	女	71.6	15.7	78.0	9.6	8.6	4.5	31.0	38.8	9.6	3.3	4.1	1.4	490	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	無回答	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2	
年代	18~20歳代	64.6	21.5	44.3	22.8	24.1	8.9	30.4	26.6	12.7	8.9	3.8	1.3	79	
	30歳代	71.3	17.1	60.5	10.1	8.5	8.5	38.0	7.0	51.9	7.8	3.9	2.3	0.0	129
	40歳代	71.1	20.8	71.7	11.9	8.2	6.3	34.0	7.5	44.0	4.4	5.0	4.4	1.3	159
	50歳代	67.9	29.7	83.6	4.8	7.9	7.3	26.7	8.5	38.8	7.9	3.0	2.4	1.2	165
	60歳代	67.6	9.9	89.2	8.6	7.7	4.1	31.1	12.6	33.3	8.1	1.4	5.9	1.4	222
	70歳代	61.5	4.4	86.7	20.0	5.9	2.2	24.4	16.3	38.5	8.9	0.0	5.2	2.2	135
	80歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2	
居住地区	南河内地区	68.1	17.4	79.6	11.5	9.9	3.0	29.6	11.5	39.5	7.9	2.0	3.9	2.0	304
	石橋地区	64.5	14.8	76.6	12.4	8.3	7.6	26.6	9.7	41.7	9.7	4.1	4.8	0.7	290
	国分寺地区	70.2	18.2	74.0	11.6	9.1	7.0	35.4	12.6	36.5	6.0	3.5	0.7	285	
	無回答	58.3	8.3	41.7	0.0	8.3	8.3	41.7	16.7	25.0	8.3	0.0	8.3	25.0	12

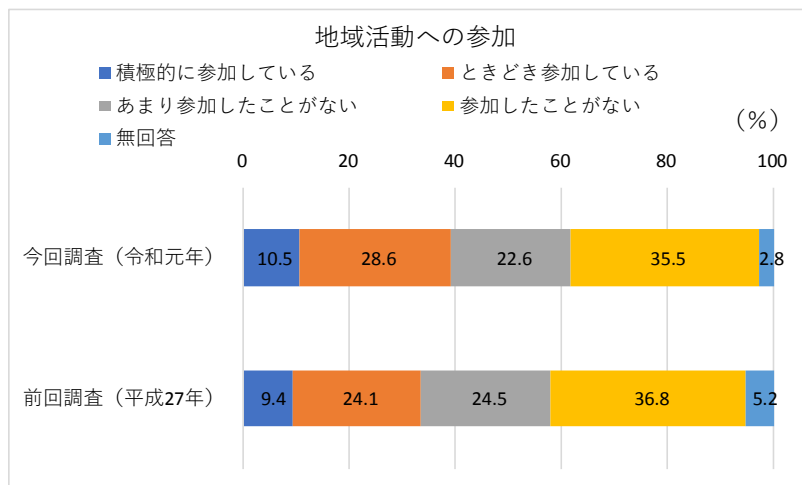


## (5) まちづくりについて

### ①地域活動等への参加状況

問12 あなたは、過去1年間に、自治会、NPO、ボランティア等の活動にどの程度参加していますか。

<〇は1つ>



地域活動への参加状況を見ると、「積極的に参加している」が10.5%、「ときどき参加している」が28.6%で、合わせて39.1%が“参加している”と回答しています。一方、「参加したことがない」が35.5%、「あまり参加したことがない」が22.6%で、合わせて“参加したことがない”が58.1%となっています。

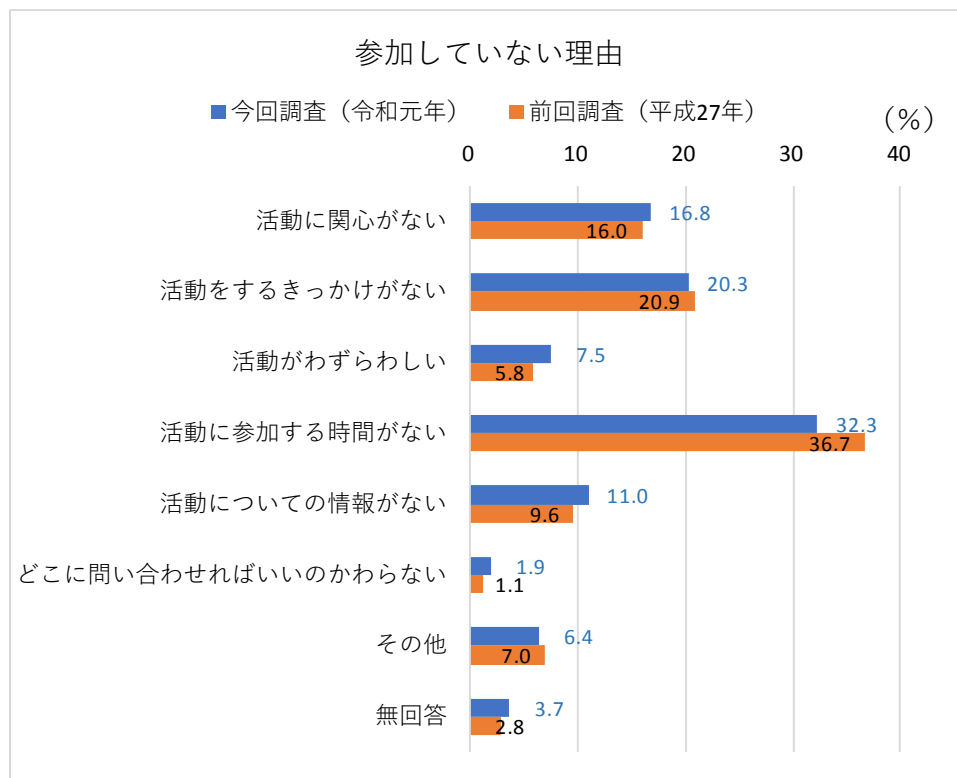
年代別にみると、“参加している”が最も多いのは「50歳代」であり、「18～20歳代」では僅か7.6%となっています。

問12 地域活動への参加		1 積極的に参加している	2 ときどき参加している	3 あまり参加したことがない	4 参加したことがない	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		10.5	28.6	22.6	35.5	2.8	891
性別	男	15.3	22.6	22.1	37.6	2.5	399
	女	6.5	33.7	23.1	33.9	2.9	490
	その他	-	-	-	-	-	0
	無回答	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
年代	18～20歳代	0.0	7.6	20.3	68.4	3.8	79
	30歳代	3.1	24.0	18.6	51.9	2.3	129
	40歳代	8.2	29.6	24.5	34.0	3.8	159
	50歳代	16.4	37.0	20.0	24.8	1.8	165
	60歳代	13.1	29.7	27.9	27.9	1.4	222
	70歳代	15.6	32.6	20.0	28.1	3.7	135
	80歳代	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居住地区	南河内地区	11.8	31.6	19.7	33.2	3.6	304
	石橋地区	9.0	25.9	25.5	38.3	1.4	290
	国分寺地区	11.2	28.4	22.5	35.8	2.1	285
	無回答	0.0	25.0	25.0	16.7	33.3	12

## ②参加していない理由

問 1 3 ※問 1 2 で “3 または 4” を選択された方にお聞きします。

その理由は次のうちどれですか。〈○は1つ〉



地域活動に参加していない理由は、「活動に参加する時間がない」が32.3%であり、次いで、「活動をするきっかけがない」が20.3%、「活動に関心がない」が16.8%などとなっています。属性別にみても、「活動に参加する時間がない」が最も多くなっています。

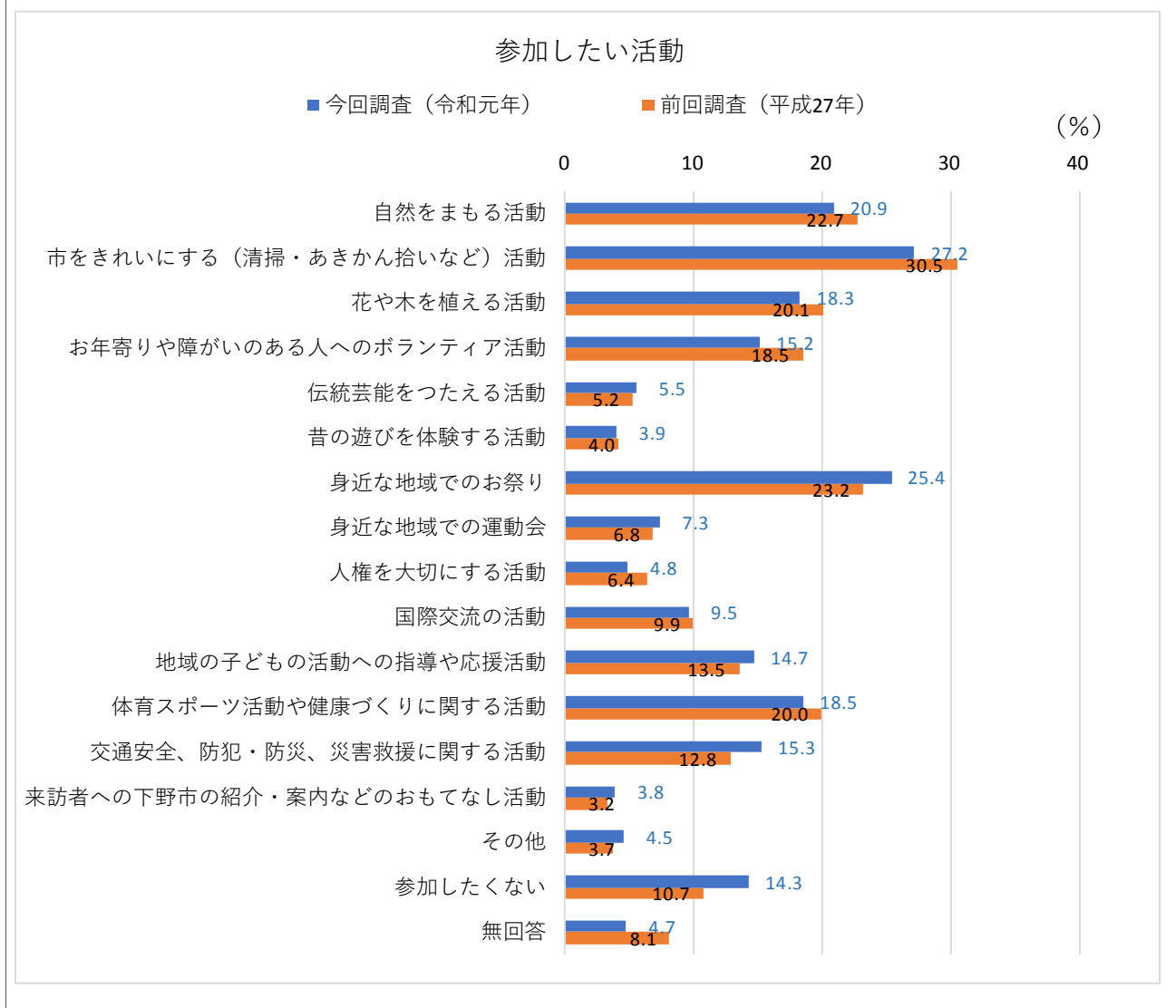
問13 参加していない理由	1 活動に関心がない	2 活動をするきつかけがない	3 活動がわずらわしい	4 活動に参加する時間がない	5 活動についての情報がない	6 どこに問い合わせられない	7 その他	無回答	回答者総数	
回答者総数 (全体)	16.8	20.3	7.5	32.3	11.0	1.9	6.4	3.7	517	
性別	男	17.2	17.6	9.2	34.0	12.6	2.1	2.9	4.2	238
	女	16.5	22.6	6.1	30.8	9.7	1.8	9.3	3.2	279
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年代	18~20歳代	12.9	21.4	2.9	35.7	17.1	1.4	4.3	4.3	70
	30歳代	19.8	25.3	6.6	28.6	12.1	2.2	4.4	1.1	91
	40歳代	18.3	16.1	4.3	41.9	9.7	4.3	1.1	4.3	93
	50歳代	20.3	18.9	9.5	36.5	6.8	2.7	4.1	1.4	74
	60歳代	13.7	23.4	9.7	29.8	12.1	0.0	8.1	3.2	124
	70歳代	16.9	13.8	12.3	20.0	7.7	1.5	18.5	9.2	65
	80歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	0
居住地区	南河内地区	16.8	18.6	6.2	32.9	12.4	2.5	8.1	2.5	161
	石橋地区	17.8	19.5	9.7	31.4	9.7	1.6	6.5	3.8	185
	国分寺地区	15.7	21.7	6.6	33.7	10.8	1.8	4.8	4.8	166
	無回答	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	5

### ③活動への参加意向

問14 下野市では、自治基本条例に基づき「市民が主役のまちづくり」、「協働によるまちづくり」を進めています。また、まちの美化活動、文化活動、スポーツ活動、ボランティア活動など、市民同士が協力して、または市民と市役所が協力して、様々なまちづくりを行っています。

あなたは、下野市で行われているどのような活動に参加したいですか。

<〇は3つまで>



参加したい活動は、「市をきれいにする (清掃・あきかん拾いなど) 活動」が27.2%、「身近な地域でのお祭り」が25.4%、「自然をまもる活動」が20.9%などとなっています。

性別では、「男」で「市をきれいにする (清掃・あきかん拾いなど) 活動」が多く、「女」で「身近な地域でのお祭り」が多くなっています。

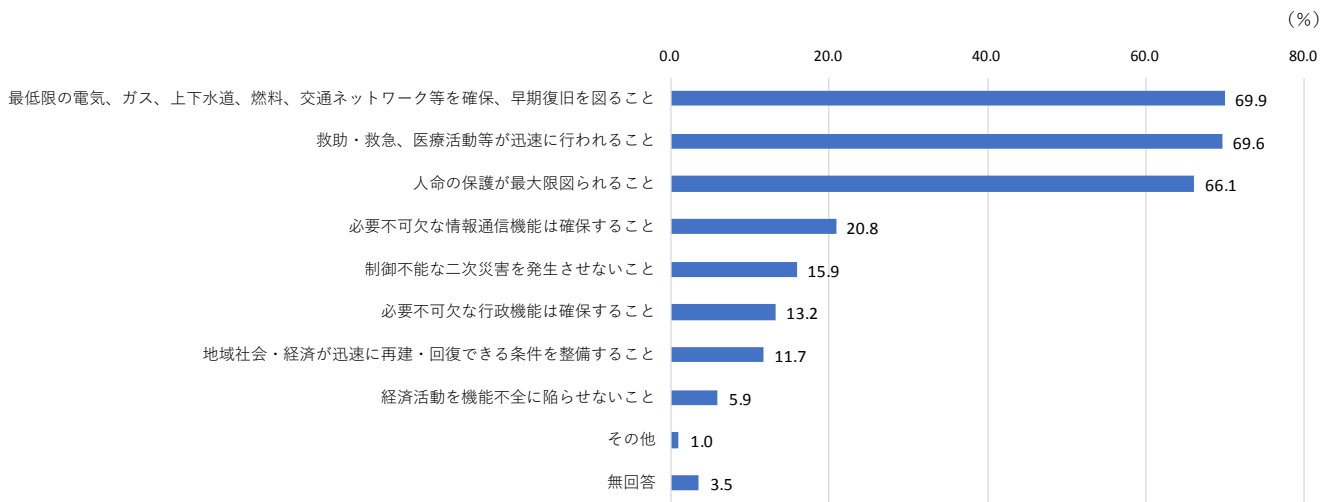
年代別では、40歳代以下の若い世代で「身近な地域でのお祭り」が、50歳代以上で「市をきれいにする (清掃・あきかん拾いなど) 活動」が、それぞれ最も多くなっています。

問14 参加したい活動	1 自然をまもる活動	2 市をきれいにする(清掃・あきかん拾いなど)	3 花や木を植える活動	4 お年寄りや障がいのある人へのボランティア活動	5 伝統芸能をつたえる活動	6 昔の遊びを体験する活動	7 身近な地域でのお祭り	8 身近な地域での運動会	9 人権を大切にする活動	10 国際交流の活動	
回答者総数 (全体)	20.9	27.2	18.3	15.2	5.5	3.9	25.4	7.3	4.8	9.5	
性別	男	26.1	30.8	13.3	8.0	6.3	4.3	25.1	8.0	8.0	
	女	16.7	24.3	22.4	21.0	4.7	3.7	25.7	6.7	10.8	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年代	18~20歳代	25.3	16.5	15.2	21.5	5.1	2.5	30.4	6.3	2.5	17.7
	30歳代	13.2	20.9	18.6	7.0	6.2	5.4	45.7	8.5	3.9	11.6
	40歳代	21.4	22.0	20.1	15.1	6.3	3.1	27.7	5.0	4.4	9.4
	50歳代	19.4	27.3	15.2	18.2	3.0	2.4	20.0	10.3	6.1	11.5
	60歳代	23.9	33.8	21.2	16.2	7.7	3.2	18.0	6.8	4.5	8.6
	70歳代	22.2	34.8	17.0	14.1	3.7	7.4	19.3	6.7	6.7	2.2
	80歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	南河内地区	22.7	29.6	18.8	17.1	5.3	3.6	22.0	3.0	3.9	10.5
	石橋地区	19.0	21.7	19.0	11.7	4.8	3.8	31.0	7.9	4.1	7.9
	国分寺地区	21.1	29.8	17.5	16.5	6.3	4.6	23.9	11.2	6.7	9.8
	無回答	16.7	33.3	8.3	16.7	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0	16.7

問14 参加したい活動	11 地域の子どもへの指導や応援活動	12 体育スポーツに関する活動や健康	13 交通安全、防犯、防災、災害救援に関する活動	14 来訪者への案内などの野市のおもてなし活動	15 その他	16 参加したくない	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)	14.7	18.5	15.3	3.8	4.5	14.3	4.7	891
性別	男	14.5	24.1	19.8	3.0	4.3	3.0	399
	女	14.9	14.1	11.6	4.5	4.7	5.9	490
	その他	-	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
年代	18~20歳代	19.0	24.1	13.9	7.6	1.3	2.5	79
	30歳代	31.0	14.0	14.0	3.1	5.4	3.1	129
	40歳代	17.0	15.7	16.4	6.3	3.8	15.7	159
	50歳代	12.7	19.4	18.2	3.6	3.6	16.4	165
	60歳代	9.0	18.9	17.6	2.7	4.1	12.2	222
	70歳代	5.9	21.5	8.9	1.5	8.1	15.6	135
	80歳代	-	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居住地区	南河内地区	14.5	20.4	17.1	3.0	3.6	3.6	304
	石橋地区	14.5	21.7	12.4	4.5	5.2	5.9	290
	国分寺地区	14.7	14.0	16.8	3.9	4.9	3.9	285
	無回答	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	12

#### ④国土強靱化について

問15 下野市では、国・県の国土強靱化推進施策に基づき、想定外ともいえる大規模な自然災害等に対応するため、人命を守り、経済社会への被害を低減、迅速に回復する「強さとしなやかさ（強靱さ）」を備えたまちづくりを進めることとしています。あなたが、特に重視すべきと思うことを選んでください。 <〇はあてはまるものすべてに>



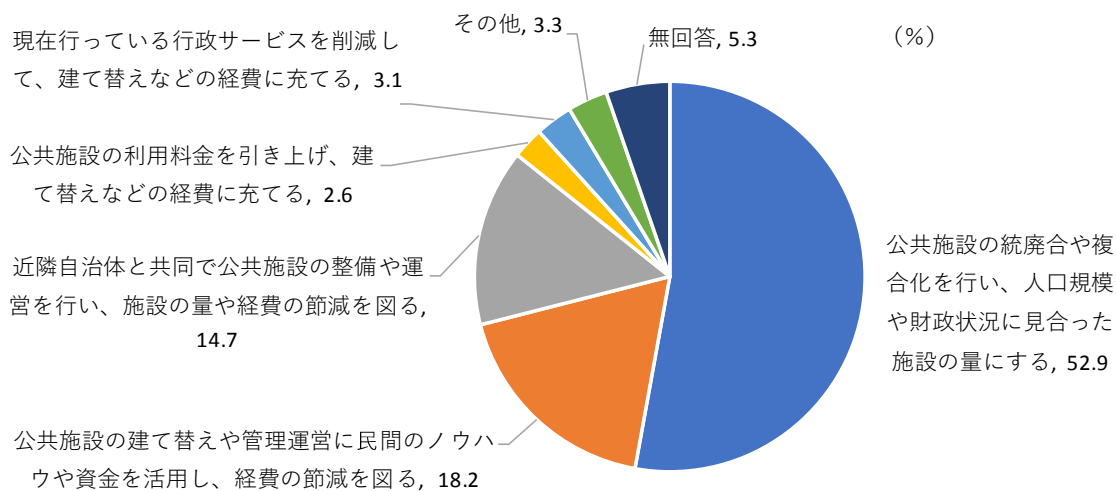
国土強靱化のために重視すべきことは、「最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保、早期復旧を図ること」、「救助・救急、医療活動等が迅速に行われること」、「人命の保護が最大限図られること」の3項目に集中しています。

属性別にみても、各属性ともこの3項目が多くなっています。

問15 国土強靱化のため重視すべきこと	1 人命の保護が最大限図られること	2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われること	3 必要不可欠な行政機能は確保すること	4 必要不可欠な情報通信機能は確保すること	5 経済活動を機能不全に陥らせないこと	6 最低限の電気、ガス、上下水道等を確保、早期復旧を図ること	7 制御不能な二次災害を発生させないこと	8 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること	9 その他	無回答	回答者総数
回答者総数（全体）	66.1	69.6	13.2	20.8	5.9	69.9	15.9	11.7	1.0	3.5	891
性別	男	61.2	68.4	15.8	19.0	9.8	67.4	16.0	13.8	1.5	399
	女	70.2	70.6	11.2	22.2	2.9	72.0	15.9	10.0	0.6	490
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	無回答	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	2
年代	18～20歳代	67.1	64.6	13.9	35.4	8.9	69.6	19.0	15.2	0.0	79
	30歳代	67.4	77.5	6.2	23.3	5.4	69.0	20.2	8.5	0.8	129
	40歳代	66.0	72.3	9.4	20.1	4.4	73.6	16.4	13.2	1.9	159
	50歳代	73.3	67.9	12.1	21.2	5.5	69.1	15.8	10.9	1.8	165
	60歳代	63.5	70.3	16.7	18.5	5.9	72.5	14.4	14.4	0.5	222
	70歳代	60.7	63.7	20.0	14.1	7.4	64.4	12.6	7.4	0.7	135
	80歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	2
居住地	南河内地区	66.8	69.7	13.5	24.0	4.9	70.1	17.8	12.2	1.3	304
	石橋地区	66.9	70.7	13.8	18.6	5.5	71.0	12.1	9.3	0.7	290
	国分寺地区	65.6	68.8	12.6	19.3	7.4	69.1	17.9	13.7	0.7	285
	無回答	41.7	58.3	8.3	25.0	8.3	58.3	16.7	8.3	16.7	12

## ⑤公共施設更新等の財源

問16 下野市では、将来的な人口・財政状況を見通し、持続可能な公共施設等の維持を目的として、「公共施設等総合管理計画」を策定しました。計画では、下野市の公共施設の将来の更新等費用は、今後30年間で1290億円になると試算しています。今後、公共施設の建て替えや維持管理に必要な財源が不足することが見込まれますが、どのように対処すべきと思いますか。(〇は1つ)



公共施設の更新、維持管理のための財源について、「公共施設の統廃合や複合化を行い、人口規模や財政状況に見合った施設の量にする」が52.9%となっています。

属性別にみても、各属性とも「公共施設の統廃合や複合化を行い、人口規模や財政状況に見合った施設の量にする」が50%程度で最も多くなっています。

問16 財源不足への 対処	1 公共施設の統廃合や複合化を 行った人口規模や財政状況を 見合っ た施設 の量に する	2 公共施設の建て替えや管理運 営に民間のノウハウや資金を 活用し、 経費の節減を図る	3 近隣自治体と共同で公共施設 の整備や運営を行い、施設 の量や経費の節減を図る	4 公共施設の利用料金を引き上 げ、建て替えなどの経費に充 てる	5 現在行っている行政サービス を削減して、建て替えなどの 経費に充てる	6 その他	無 回 答	回 答 者 総 数
回答者総数（全体）	52.9	18.2	14.7	2.6	3.1	3.3	5.3	891
性 別	男	51.1	17.8	14.3	3.5	2.5	4.8	399
	女	54.1	18.6	15.1	1.8	3.7	5.7	490
	その他	-	-	-	-	-	-	0
	無回答	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
年 代	18～20歳代	51.9	10.1	15.2	7.6	8.9	0.0	79
	30歳代	46.5	20.9	12.4	3.1	7.0	5.4	129
	40歳代	56.6	19.5	13.2	1.3	3.1	3.8	159
	50歳代	58.8	21.2	12.7	1.2	2.4	2.4	165
	60歳代	51.4	19.4	17.1	3.2	0.5	5.0	222
	70歳代	50.4	13.3	17.0	1.5	3.0	13.3	135
	80歳代	-	-	-	-	-	-	0
	無回答	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
居 住 地 区	南河内地区	54.6	19.1	12.8	3.3	2.6	4.3	304
	石橋地区	51.0	17.6	13.1	2.8	4.8	7.2	290
	国分寺地区	51.6	18.2	18.9	1.8	2.1	4.2	285
	無回答	83.3	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	12



## (6) 自由記入意見

問17 その他、市政へのご提案・ご意見などがございましたら、ご自由にご記入ください。

市政について記述のあった意見から、以下に紹介します。

<p><b>【複数のご意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報7月号の「下野市立地適正化計画」の記事を読み、これからの下野市はどんな風に変化して行くのかと思い楽しくなりました。個人的には今一番不自由しているのはゴミの収集（収集場所が遠いため、途中で動悸がしたりします。若い人にはそうでもないと思います）です。子供にも障害者にも、そしてシニアにも便利で暮らしやすい町に期待します。美しい町並だと更に良いですね。</li> <li>・自治医大駅東側の商業施設が計画的に行われず、地代高止まりで定着率が悪い。</li> <li>・グリーンタウン地区は同年代の入居が多く、空室が目立つ。若い人たちが積極的に入居する様な施策が望まれる。</li> <li>・安全性を確保するための監視カメラ等のセキュリティが足りない。</li> <li>・医療、交通以外にもう一つアピールポイントが欲しい。</li> <li>・議員の数が削減されていない。</li> <li>・全ての年齢・性別において人を育てる施策を期待します。たとえば、教育・知識（の獲得）・健康など、全体の底上げは行政が、深化するには民間と協力して人材を育てることが下野市の今後を良くしていくと思います。</li> <li>・将来の人口減に備えて、施設はできるだけすでにあるものを活用し、効率良い財政運営を願います。</li> <li>・又、人口減による働き手不足などで外国人材を受け入れる場合、タイやベトナムなど仏教人口の多い国から受け入れると馴染みやすいと思います。準備等どうするかは今から考え話し合っしてほしいです。</li> </ul>
<p><b>【幸福感】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸せを出すなら日本一幸福な街を目指せ。</li> <li>・「幸せ」の質問が出てきた事は良い事だと思うが、国連やOECD等での幸福度の指標にはもっと多様なものがあり、ここでの「主観的幸福度」だけでは市政が市民を幸せにできているかは分からないことに注意して解析してほしい。</li> </ul>
<p><b>【医療、健康】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学病院や医療関係者、中規模病院が多く、近隣市町村より税収面でのアドバンテージがあるので、それを生かした（活かした）サービスとして還元して頂きたい。</li> <li>・小山市のように若者向けに健康促進教室を平日の夜に開催し、交流や運動できる場所や機会が欲しいので、よろしくをお願いします。テニス教室 e t c.</li> <li>・自治医大の受診について。地域住民が、受診しやすいようにしてほしい。地域医療目的から離れてきたように思う。</li> </ul>
<p><b>【子育て支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切な税金を子供達の安全、教育、生活、医療の為に使って欲しい。広瀬市長、市職員の方々は誰の為に働いているのか？自分達の給料はどこから来ているのか？だれが払っているのか良く考えて欲しい。</li> <li>・下野市は子育ての面で高い評価を受けています。今後の下野市はぜひその点をさらに延ばしていただきたいと思います。そのためにも学ぶための環境と人員を整えることを優先して下さい。自ら学び力をのばすために本を読む環境整備等は最優先。ぜひ学校の図書室を充実させ、子供に本を伝える専門司書を毎日おくなど、有効な手段を期待します。</li> <li>・貧困、いじめ、ひきこもり、不登校、虐待等、気軽に相談できる場所があればいいと思う。虐待など緊急時にすぐに逃げられる居場所があればいいと思う。（24時間）</li> <li>・母子家庭の子は進学などの選択肢が少ないままで良いのでしょうか？子供を育てながら特別な資格を持っているわけでもない女親が、高校、専門学校、大学などに子供を通わせるのは本当に大変な事です。手当てなどもいただいておりますが、ほとんどは生活費で消えてゆきます。手当てをもらっているのだから遊びに使わずにためればよいと言う人もいます。夏休みにどこかへ連れて行きたいと考えれば人並みに出費があります。それらを手当てで補ってあげれば、学業に使えるお金はわずかです。母子家庭でも安心して学業支援できるようなサポートをお願いします。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供医療費助成を18歳まで引き上げたのは大変すばらしいです！安心して暮らせませす。</li> <li>・第2子を出産し、育休になった場合に保育園に入園している上の子が退園になるのは反対です。継続入園できていく市もあります。それが無理でも、職場復帰に合わせて必ず元いた園に戻れるようにして下さい。</li> <li>・働く母親のために、市の学童も朝7：00～20：00までになると助かります。</li> <li>・子ほめ条例で銅メダルを小学生に授与しているが、市外の学校に通う子供達（市内在住で特別支援学校など）にも授与してほしい。</li> </ul>
<p><b>【高齢者支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これから増えるであろう高齢者や認知症の方々が安心して過ごせる公共の場所が必要になってくると思います。今ある地域の集会所を活用した方が家族も安心出来るのではと思います。</li> </ul>
<p><b>【障害者支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は全盲のため、すべての質問に答えられず、すみませんでした。点字ブロックなど、費用は大変かと思いますが、より整備していただければ助かります。（ガードレール等）</li> <li>・障がい者施設、特に重度・重篤障害の方が通える通所施設があると良いです。将来的には入所も可能な施設も必要だと思います。</li> </ul>
<p><b>【文化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小さい施設をチマチマ造ってないで、住民が楽しめる大ホールを立地する。何かを行うとしても他の市町村を借りるのでは、下野市では何も行えないし呼べない。市役所ばかりに大金をかけないで、住民が集約し楽しめる場所、災害時にも安心していられる場を造って下さい。</li> <li>・文化ホールの建設を希望します。公民館、グリムの館など中途半端な規模ではもったいない。1つのホールとしてまとめるべき。</li> </ul>
<p><b>【まつり、イベント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下野市になっても未だに成人式や祭り、運動会等3町それぞれに行っておりバラバラな感じ。文化会館の様な施設がほしい。祭りもみこしの担ぎ手がなくどんどん縮小している。下野市で大きな祭りができると良いのではないかな。</li> <li>・市役所隣のスペース国道沿いが（東側！！）とても広くて何かフリーマーケットとかを少し安くスペースを貸して活用したらいかが？にぎやかになるよ！</li> </ul>
<p><b>【防災対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップを最近見かけるようになったが、小さい子から老人まで簡単に理解できるような防災対策が知りたい。</li> </ul>
<p><b>【防犯対策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅から新四に向かう道に街灯が少なすぎて危ないと思う。特に南河内診療所から先。歩道にも草が生い茂り、歩きづらい。</li> </ul>
<p><b>【交通安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者ドライバーの事故防止のために後付けできる安全装置設置の費用負担をしてほしい。</li> <li>・石橋小学校の児童が歩道のないカーブの多い道を通っています。大津市の事故から近隣市では警察・県の調査が入り、道路の修理やルートの変更をしているそうです。下野市ではそういった対策をされているのか、情報公開をしてほしいです。</li> <li>・子供がいるので特に防犯、交通安全対策が心配です。危険な車の運転をしている人が増えています。小、中、高、1人1人にアンケートを取って自分が通っている道の危険、コワイ場所などを聞き、対策をとってもらいたいです。</li> </ul>
<p><b>【交通、移動手段】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンドバスを利用している者ですが、帰りのバスが待ち時間が長いのでタクシーを使ってしまう事がある。何とか出来ないのか？改善してほしいです。</li> <li>・高齢の両親が免許証の返納を考えていますが、車がなくなると買い物すら行けなくなるため、現実的ではありません。市内の交通網の充実を切に願います。（循環バスetc…）</li> <li>・バスの路線を増してほしいです。私は車がないので行動範囲が限られてしまっています。もしバスがあったら公民館でやっている行事に参加できるのに、もう少し遠くまで1人でも遊びに行けるのにと感じてしまいます。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・超高齢化社会であり、様々な問題や事件・事故が起こっている今の社会で最も問題になっていくのは“高齢者の運転免許の返納”であると考えます。若者としては安全のために早めに返納してほしいと思いますが、高齢者になって考えると、家の近くに店もなく、バスも安易に利用できない様な状況では正直返せないのも当然だと思います。もう少し、広い範囲にバスを走らせたり、タクシー以外の移動手段が欲しいです。高齢者の立場で考えるととても重要だと思います。</li> </ul>
<p>【騒音問題】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の方に言うことではないのかもしれませんが、暴走族？というか改造バイクで走っている集団がいて、夕方から夜、割とひんぱんに走っていて騒音がひどいです。小さい子供がいるので寝る時間にうるさいととても困ります。</li> </ul>
<p>【産業振興】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市を挙げての工業への取り組みがあっても良いと思う。宇都宮のような工業団地のような整備や大企業誘致等、目立った企業が下野市にはいないように思う。また、大学の誘致等、若い人が入って来る仕組みが必要と感じる。</li> </ul>
<p>【成長戦略】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時には予算もあるのでしょうが、思い切った政策をお願いします。横ばいは後退です。</li> <li>・現在の自然環境を残しつつ、企業誘致などによる人口増加、地域活性化に力を入れて欲しい。企業誘致・人口増加が実現することで税収も増え、公共施設の充実や市街地整備等にも予算が付き、地域活性化に繋がると思います。</li> </ul>
<p>【賑わいづくり】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・友人と遊ぶことになった際、宇都宮や小山に行くことがほとんどで、お金や時間がかかってしまいます。その度以下野市内にそういった娯楽施設や生活雑貨以外のものを買える店があればなあと思ってしまいます。いきなりは難しいということは重々承知なのですが、検討いただければと思います。</li> </ul>
<p>【シティ・セールス】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮出身の私が就職をきっかけに下野市へと移り住み、その住み心地の良さに愛着があります。今回アンケート調査を通して下野市の魅力の資料を見て、今まで知らなかった事ばかりで、とても勉強になりました。今後栃木県、そして下野市のPRとして、観光アピールもかねて、多くの人々に伝えていきたいと思いました。下野市には他県や他市から移り住む人、外国人、障害を持つ人も多く、もっと生活環境が良くなれば良いなと思っています。改革に伴い、市民の声を聞こうとして下さる市に、また大きく期待しています。</li> </ul>
<p>【暮らしの安定】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住みやすいいい街だと感じています。安定した生活を送れる方が増えていけば市役所の業務も減るのではと思います。その視点を大切に行政でできることを考えていけば良いのではと思います。市役所職員の方々、日々お疲れ様です。</li> </ul>
<p>【土地利用】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画法により市街地調整区に区分され地域間格差が生まれ、人口減少などが起きています。5年間の見直しということですがそれもありません。土地利用の規制緩和をし線引見直しを早急に！</li> <li>・後継者のいない家や田畑の管理の指導。</li> </ul>
<p>【コンパクトシティ】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三駅周辺へ人口を集約する施策を第1に行うべき。駅から離れた地域の区画整理等は、即中止すべきと思います。</li> <li>・地の利を生かせば首都圏へのアクセスも良く、医療機関などの充実の下野市の大きい財産であることから沿線地区においては、都市型コンパクトシティ化に向けて、沿線の集積度を高める為にも農業行政・農業委員会の改革と共に市街化調整区域の柔軟な対応による宅地造成の促進とともに、農村部における農業法人化や集団化を推進する。</li> </ul>
<p>【空き家対策】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち主不明の家（火災の原因）の処分、手の入っていない林の伐採、雑草地をつぶして宅地にできないでしょうか。空き家を貸して店の活性化をはかると良いのではないのでしょうか。</li> </ul>
<p>【市民参加】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・下野市に住むのに病院等の充実している点については満足しているが、近隣市町に比べ自慢できるものが少ないのが弱み。町おこしできるものが何かあっても良いのでは？若い人材の意見を受け入れ新しい取り組みを期待しています。（封筒の大きさ考えた方が良いです）</li> </ul>
<p>【ふるさと意識の醸成】</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の特徴を活かした生活しやすい町づくりをお願いします。また子供たちが将来下野市から外へ出て行って「ふるさと」と呼べるような町に。</li> </ul>
<p>【新市の一体感の醸成】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 引越してきて感じたことは、“下野市”といっても旧国分寺、旧南河内、旧石橋と合併して何年も経つのに、今もそれぞれ地区で分かれているように思います。長い年月がかかるとは思いますが、もう一体感が生まれてもいいと思います。それが結果的にムダなく効率UP、経費削減にもなるのではないのでしょうか。</li> </ul>
<p>【広報】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自治会での負担を減らして欲しい。広報紙を全世帯に配ることは必要でしょうか？必要な世帯へは配布し、基本は必要な情報をホームページなどで検索しやすくすればよいのでは？ゴミも減ります。または、発行回数を年2回などに減らして欲しいです。広報にお金をかけすぎでは？</li> </ul>
<p>【市役所、窓口サービス】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 時々市役所へ行きますが、案内の方が声を掛けて下さり、とても分かりやすいです。ありがとうございます。</li> <li>• 市役所に下水の件で相談したらたらい回し、折り返すとなったが折り返しの電話が無かった。信用問題。市民と役所の信頼関係は大切。</li> <li>• 市町村合併で新規に市庁舎を建てられたが、従来の市庁舎が十分に使える状態なのに何故新しい市庁舎が必要だったのか理解に苦しみます。ガラス張りの熱効率の悪い建物には、温暖化とか地球環境保全といった思想が見られませんか、ムダな税金が使われていると思います。</li> <li>• 新しい下野市役所はとても立派だと思います。ですが、平日しかサービスを行っていないのはとても残念です。土日が休みの私にとっては中々利用しにくいです。火曜日は19時？までやっているようですがあまり意味がないような…。他の地域では一部サービスのみですが土曜日にサービスを行っている所もあるようです。土日がお休みの方は多いと思うのでぜひお願いします。</li> </ul>
<p>【公共施設】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新しい競技場ができたが設備が中途半端だと思います。今後、施設を新設する時はもっと利用する人達の意見を取り入れて、中途半端な施設を作らない様にしてほしい。中途半端な物は税金のムダ使いです。</li> <li>• 下野エリアに勉強を遅くまでする施設が全くない！！小山の未来塾や宇都宮の図書館など、pm9：00まで勉強できる施設を早急に作ってほしい。（コミュニティプラザの開放でも良い）</li> <li>• 下野市は住み易い街だと思います。但し、それ以上の特色が感じられません。安易に歴史や文化に傾注せず、住み易さの満足度の向上に期待します。文化施設等は居住の満足度に焦点を絞るなど、分かり易い訴求を提案いただければと思います。</li> <li>• 三町合併したのに未だに公共施設（商工会や農協）が一元化されていないのは変だと思います。</li> </ul>
<p>【市財政】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市財政の健全化に向けた効率化を進めて欲しい。</li> <li>• 社会経済情勢に左右されることのない安定した市民の生活を守るためにも、更なる財政健全化に取り組んで欲しい。そして、いつまでも子供達の元気な声や笑顔が絶えない町づくりを目指して欲しいと切に願っています。期待しています。</li> <li>• 費用対効果を考慮した財源の利用（むだなぜいたくを排除する）。</li> </ul>
<p>【行政改革】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 議員定数を減らす。市役所職員を少しずつ減らす。→コンピュータ導入等で事務量を見直す。（毎年の経費を少しずつ節約していく）（事務用品を大切に。）</li> <li>• このアンケートに対する今後の行政の取組み結果の報告や説明会を実施していただきたい。ただ、パーセントや財源だけの報告だけでなく、具体的な取組み等の内容も重要である。ただのアンケートだけで終わらせないこと。</li> </ul>
<p>【周辺自治体との連携】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市内に居住していても通勤通学、医療、買物等の生活圏が県内外の他市町村にならざるを得ない現状は多くあり、市政の充実を計る上でも近隣地域との交流や災害時の連携の強化が必要ではないか。</li> <li>• いまや車社会、高齢化社会、独自で市政を行うのではなく、共通する課題については隣接する自治体と共同で行い、市民が満足する充実したものとし、費用は分担して負担を軽減する。</li> </ul>

### 3. 調査票

<下野市 まちづくりアンケート>

#### 第二次下野市総合計画後期基本計画策定に係る市民意識調査

日頃より、市政全般にわたりご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

下野市は平成28年に第二次下野市総合計画基本構想（計画期間10年：平成28年度～令和7年度）を策定し、本市が掲げる未来像「ともに築き 未来へつなぐ 幸せ実感都市」の実現を目指し、計画的にまちづくりを進めているところです。

現総合計画基本構想に基づく『前期基本計画』が令和2年度で終了するため、社会経済情勢の変化やこれまでの取組の進捗状況及び課題を分析しながら、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする『後期基本計画』の策定を進めております。

本調査は、『第二次下野市総合計画後期基本計画』の策定にあたって、皆さまの市政に対するお考えやご意見をお聞きし、今後のまちづくりへ反映させるために実施するものです。18歳以上の市民の皆さまから無作為に3,000人を抽出し、調査結果は統計処理され、回答者ご自身にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、以上の本調査の趣旨をご理解いただき、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

（同封の「こんなにすごいぞ下野市」は、本市の魅力・実力ランキングを集約し、広く知ってもらうための資料です。ご回答の参考にしていただければ幸いです。）

令和元年7月

下野市長 広瀬寿雄

#### 調査票の記入方法について

1. 宛名のご本人がお答えください。
2. ご住所・お名前の記入は必要ありません。
3. 記入につきましては  
①鉛筆、ボールペン等で結構です。  
②回答に当てはまる項目を選び、その番号を○で囲んでください。「その他」を選んだ方は（ ）内に、その内容を具体的にお書きください。  
③質問により、回答を1つだけ選んでいただくものと、複数（3つまで）選んでいただくものがあります。また、直接、ことば・文章でご記入いただくものもありますので、各設問にお示した方法でご回答ください。
4. ご記入いただきました調査票は、7月●日（●）までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにお出してください。
5. 記入方法や調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。  
下野市役所総合政策部 総合政策課 政策推進グループ 電話：0285-32-8886  
電子メールアドレス：sougouseisaku@city.shimotsuke.lg.jp

## A あなた自身のことについてお聞きします

問1 あなたの性別をお教えてください。

1. 男                                  2. 女                                  3. その他

問2 あなたの年齢をお教えてください。

1. 18～20歳代      2. 30歳代      3. 40歳代      4. 50歳代  
5. 60歳代      6. 70歳代      7. 80歳代

問3 あなたはどちらにお住まいですか。

1. 南河内地区                          2. 石橋地区                          3. 国分寺地区

問4 あなたが、現在の地区にお住まいになっている年数をお教えてください。

1. 5年未満                          2. 5年以上10年未満                          3. 10年以上20年未満  
4. 20年以上30年未満      5. 30年以上

## B 現在の下野市についておたずねします

問5 下野市は、住みやすいと思いますか。 <○は1つ>  
また、その理由を具体的にお書きください。

1. 住みやすい                                  2. どちらかといえば住みやすい  
3. どちらかといえば住みにくい      4. 住みにくい  
5. どちらともいえない



問6 あなたの身近な生活環境の中で、次の内容について、どのように思いますか。  
 <○は項目ごとに1つ>

まちの状況	とても 思う	少し思う	あまり 思わない	まったく 思わない
例：○○○○である	1	②	3	4
1. 林や川などの美しい自然環境が豊かである	1	2	3	4
2. 地域に活気やにぎわいがある	1	2	3	4
3. 自然災害に対して安全性が高い	1	2	3	4
4. 町並みが美しい	1	2	3	4
5. 騒音・振動・悪臭などの公害がない	1	2	3	4
6. 病院・診療所などの医療サービスが充実している	1	2	3	4
7. 文化財や祭りなどの伝統文化が豊かである	1	2	3	4
8. 日常の買い物が便利である	1	2	3	4
9. 電車・バス・道路などの交通が便利である	1	2	3	4
9-1. 電車の利用が便利である	1	2	3	4
9-2. バスの利用が便利である	1	2	3	4
10. 道路・歩道を安全に利用できる	1	2	3	4
11. 小・中学校の教育内容や施設が充実している	1	2	3	4
12. 公園や広場が多い	1	2	3	4

問7 あなたが、下野市で、「自慢できるもの、自慢できること」や「将来に大切に残したいもの、残したいこと」は何ですか。ご自由にご記入ください。



### C 市（行政）の取り組みについておたずねします

問 8 ①これまでの行政施策の満足度、②今後の行政施策の重要度について、最もあなたのお気持ちに近いものを、それぞれひとつずつ選んで、その番号を○で囲んでください。		①これまでの行政施策の満足度					②今後の行政施策の重要度				
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
例	〇〇〇〇について	1	②	3	4	5	①	2	3	4	5
生活基盤	1. 消防・防災	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 防犯（犯罪対策）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 消費者保護の取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 定住促進のための住宅対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5. 交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6. 公害対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7. 環境対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8. ごみ処理・リサイクル	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9. 上水道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10. 下水道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都市基盤	11. まちなみ景観	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	12. 土地利用における秩序の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13. 市街地整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14. 道路整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15. 公共交通の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16. 公園・緑地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17. 自然環境保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
福祉・保険・医療	18. 児童福祉（保育園、各種手当等、子育て支援など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19. 高齢者福祉（在宅サービス、介護保険、生きがいづくり）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20. 障がい者福祉（在宅サービス、社会参加）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21. 地域福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22. 健康づくりへの取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23. 健康づくり施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5



問 8 ①これまでの行政施策の満足度、② 今後の行政施策の重要度について、 最もあなたのお気持ちに近いもの を、それぞれひとつずつ選んで、そ の番号を○で囲んでください。	①これまでの行政施策の満足度					②今後の行政施策の重要度					
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	
24. 医療体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
25. 保険・年金	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
教育・文化	26. 幼児教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27. 小中学校の教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28. 社会教育・文化的活動を行う機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	29. スポーツ・レクリエーションの機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	30. 青少年の健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	31. 文化・芸術活動の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	32. 文化遺産の保存や活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	33. 地域間交流・国際交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業	34. 商業の振興（小売店舗の充実など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	35. 工業の振興（企業誘致・雇用創出など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	36. 農業の振興（担い手不足対策・特産品開発など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	37. 労働環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	38. 観光の振興（観光施設整備・シティプロモーションなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市民協働	39. 行政の情報を知る機会（広報・公聴の充実など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	40. まちづくり活動に参加する機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	41. 自治会・コミュニティの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	42. NPO 団体や市民ボランティアの登録促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	43. 地域における組織と人材の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	44. 男女共同参画の取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	45. 人権尊重と平和意識の高揚	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
行政	46. 他市町村との連携	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	47. 市役所の窓口サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	48. 市の仕事の効率性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	49. 市の財政運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問9 下野市のまちづくり全体への満足度について、最もあなたのお気持ちに近いものはどれですか。〈〇は1つ〉

1. 満足      2. やや満足      3. 普通      4. やや不満      5. 不満

#### D 「幸福感」についておたずねします

問10 あなたは、下野市で生活していて幸せだと感じますか。 〈〇は1つ〉  
また、その理由を具体的にお書きください。

1. 幸せだと感じている	➔	<理由>
2. 幸せだと感じていない	➔	<理由>

問11 あなたが「幸せ」であるために重要だと思うことは何ですか。〈〇は3つまで〉

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 家計の状況（所得・消費） | 2. 就業状況（仕事の有無・安定） |
| 3. 健康状況         | 4. 自由な時間          |
| 5. 充実した余暇       | 6. 仕事の充実度         |
| 7. 精神的なゆとり      | 8. 趣味、社会貢献などの生きがい |
| 9. 家族関係         | 10. 友人関係          |
| 11. 職場の人間関係     | 12. 地域コミュニティとの関係  |

#### E まちづくりへの参加意向についておたずねします

問12 あなたは、過去1年間に、自治会、NPO、ボランティア等の活動にどの程度参加していますか。〈〇は1つ〉

1. 積極的に参加している	➔	問14へ進んでください
2. ときどき参加している		
3. あまり参加したことがない	➔	問13、問14へ進んでください
4. 参加したことがない		

問 1 3 ※問 1 2 で “3 または 4” を選択された方にお聞きします。



その理由は次のうちどれですか。〈○は 1 つ〉

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 1. 活動に関心がない     | 2. 活動をするきっかけがない        |
| 3. 活動がわずらわしい    | 4. 活動に参加する時間がない        |
| 5. 活動についての情報がない | 6. どこに問い合わせればいいのかわからない |
| 7. その他 ( )      |                        |

問 1 4 下野市では、自治基本条例※に基づき「市民が主役のまちづくり」、「協働によるまちづくり」を進めています。また、まちの美化活動、文化活動、スポーツ活動、ボランティア活動など、市民同士が協力して、または市民と市役所が協力して、様々なまちづくりを行っています。

あなたは、下野市で行われているどのような活動に参加したいですか。

〈○は 3 つまで〉

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 1. 自然をまもる活動                     |   |
| 2. 市をきれいにする(清掃・あきかん拾いなど)活動      |   |
| 3. 花や木を植える活動                    |   |
| 4. お年寄りや障がいのある人へのボランティア活動       |   |
| 5. 伝統芸能をつたえる活動                  |   |
| 6. 昔の遊びを体験する活動                  |   |
| 7. 身近な地域でのお祭り                   |   |
| 8. 身近な地域での運動会                   |  |
| 9. 人権を大切にす活動                    |   |
| 10. 国際交流の活動                     |   |
| 11. 子ども会活動などの地域の子どもの活動への指導や応援活動 |   |
| 12. 体育スポーツ活動や健康づくりに関する活動        |   |
| 13. 交通安全、防犯・防災、災害救援に関する活動       |   |
| 14. 来訪者への下野市の紹介・案内などのおもてなし活動    |   |
| 15. その他(具体的に： )                 |   |
| 16. 参加したくない                     |   |

※「市民が主役のまちづくり」、「協働によるまちづくり」を基本理念としたまちづくりの基本的なルールを定めた条例



<下野市 まちづくりアンケート>

第二次下野市総合計画後期基本計画策定に係る市民意識調査

令和2年3月

発行 下野市

編集 下野市総合政策部総合政策課